

泉大津沖埋立処分場等に係る  
環境監視調査結果報告書  
(令和7年8月分)

大阪湾広域臨海環境整備センター



# 目次

I	泉大津沖埋立処分場及び泉大津基地	1
1	環境監視結果の概要	1
1.1	処分場の受入量(表1-1)	1
	環境監視調査地点位置図(図1-1)	2
1.2	環境監視の実施状況	3
1.3	環境監視の結果	5
[1]	海域調査	5
(1)	水質	5
①	日調査	5
②	週調査	5
③	月調査	5
④	年4回調査	6
⑤	年2回調査	9
⑥	年1回調査	9
(2)	底質	10
①	年2回調査	10
(3)	海生生物	10
①	年4回調査	10
[2]	陸域調査	12
(1)	悪臭	12
(2)	発生ガス	12
2	環境監視結果	13
	海域調査結果	13
	放流水の測定結果[日調査](表1-2)	15
	放流水、内水の測定結果[週調査](表1-3)	17
	基本監視点、内水、放流水及び補助艦支店の測定結果(表1-4)	
	一般項目及び生活環境項目	18
	特殊項目	19

健康項目	20
ダイオキシン類	21
底質（海域）測定結果(表 1-5)	22
植物プランクトン調査結果(表 1-6)	23
動物プランクトン調査結果(表 1-7)	24
魚卵調査結果(表 1-8)	25
稚仔魚調査結果(表 1-9)	25
底生生物調査結果(表 1-10)	26
付着生物調査結果(表 1-11, 図 1-2)	27
漁業生物調査結果(表 1-12)	31
陸域調査結果	33
悪臭調査結果(表 1-13)	35
悪臭物質調査結果(表 1-14)	36
発生ガス調査結果(表 1-15)	37
II 大阪基地	39
1 環境監視結果の概要	41
1.1 環境監視の実施状況	41
1.2 環境監視の結果	41
(1) 交通量	41
(2) 大気質	42
(3) 悪臭	42
環境監視調査地点位置図(図 2-1)	43

2	環境監視結果	44
	監視結果総括（交通量、大気質）（表 2-1）	44
	交通量調査結果（表 2-2）	45
	大気質調査結果（表 2-3～9，図 2-2～6）	46
	悪臭結果（表 2-10）	54
Ⅲ	堺基地	55
1	環境監視結果の概要	57
1.1	環境監視の実施状況	57
1.2	環境監視の結果	57
	（1）交通量	57
	（2）大気質	58
	（3）悪臭	58
	環境監視調査地点位置図（図 3-1）	59
2	環境監視結果	60
	監視結果総括（交通量、大気質）（表 3-1）	60
	交通量調査結果（表 3-2）	61
	大気質調査結果（表 3-3～9，図 3-2～6）	62
	悪臭調査（表 3-10）	70



# I 泉大津沖埋立処分場

## 1 環境監視結果の概要

### 1.1 処分場の受入量

令和7年8月の大阪基地等4基地での廃棄物等の受入れ状況は表1-1に示すとおりである。泉大津沖埋立処分場では、直接投入の陸上残土14,838.0t（残土14,166.0t、購入残土672.0t(安定型480.0t、管理型192.0t)）の受入れを行った。

なお、泉大津基地への陸上輸送による陸上残土の受け入れは令和7年3月に終了した。

表1-1 廃棄物等の受入れ状況（令和7年8月分）

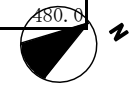
(単位：t)

廃棄物の種類		大阪基地	堺基地	和歌山基地	泉大津基地	泉大津沖埋立処分場		
						直接投入	埋立処分量	
一般廃棄物	可燃ごみ(焼却灰)	11,645.4	7,301.1	1,509.3	-	-	-	
	ばいじん処理物	3,374.3	4,655.4	568.0	-	-	-	
	不燃・粗大ごみ	73.6	266.2	21.4	-	-	-	
	し尿処理汚泥	-	6.1	2.8	-	-	-	
	溶融処理物	-	-	-	-	-	-	
合計		15,093.3	12,228.8	2,101.5	-	-	-	
汚下水	上水汚泥	132.7	156.3	443.2	-	-	-	
	下水汚泥	248.3	1,457.5	90.2	-	-	-	
	合計	381.0	1,613.8	533.4	-	-	-	
産業廃棄物	民間産業廃棄物	燃え殻	206.7	279.5	20.9	-	-	-
		汚泥	774.0	3,670.1	2.8	-	-	-
		産管 鉱さい	756.9	242.6	3,053.7	-	-	-
		ばいじん	260.1	220.2	634.8	-	-	-
		その他の廃棄物	201.9	5.6	-	-	-	-
	産安廃棄物	管理 廃プラスチック	111.0	-	2.4	-	-	-
		ゴムくず	-	-	-	-	-	-
		金属くず	-	-	4.5	-	-	-
		ガラス陶磁器くず	367.1	-	46.9	-	-	-
		がれき類	1,846.3	-	1,231.6	-	-	-
	小計		4,524.0	4,418.0	4,997.6	-	-	-
	産安廃棄物	産安 廃プラスチック	-	-	-	-	-	-
		ゴムくず	-	-	-	-	-	-
		金属くず	-	-	-	-	-	-
		ガラス陶磁器くず	-	-	-	-	-	-
がれき類		-	-	-	-	-	-	
小計		-	-	-	-	-	-	
合計		4,524.0	4,418.0	4,997.6	-	-	-	
合計		4,905.0	6,031.8	5,531.0	-	-	-	
陸上残土	安定型 残土	-	-	-	-	14,166.0	14,166.0	
	安定型 購入残土	-	-	-	-	480.0	480.0	
	安定型 小計	-	-	-	-	14,646.0	14,646.0	
	管理型 残土	4,378.8	52.5	-	-	-	-	
管理型 購入残土	-	-	152.1	-	192.0	192.0		
管理型 小計	4,378.8	52.5	152.1	-	192.0	192.0		
浚渫土砂	安定型 浚渫土砂	-	-	-	-	-	-	
	安定型 無料浚渫土	-	-	-	-	-	-	
	安定型 小計	-	-	-	-	-	-	
	管理型 浚渫土砂	-	-	-	-	-	-	
管理型 無料浚渫土	-	-	-	-	-	-		
管理型 小計	-	-	-	-	-	-		
総計		24,377.1	18,313.1	7,784.6	0.0	14,838.0	14,838.0	

(埋立量内訳) 振替量(安定型⇒管理型) 14,166.0 管理型 14,358.0

安定型 480.0

COD水域類型境界	—
全窒素、全りん水域類型境界	—





## 1.2 環境監視の実施状況

環境監視計画に基づく令和7年8月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	頻度	実施日
水質	濁度、水温、COD(化学的酸素要求量)、DO(溶存酸素量)、pH(水素イオン濃度)	管理型排水処理施設放流水 (St. 11)	1地点	連続測定	8/1~31
	SS(浮遊物質量)			週1回	8/5, 12, 19, 26
	COD、pH、全窒素			月1回	8/5
	透明度、水温、SS、COD、DO、pH	補助監視点(内水) (St. 8, 9 <sup>注</sup> )	2地点	週1回	8/5, 12, 19, 26
	クロロフィルa、FSS(不揮発性浮遊物質量)、塩分			年4回	8/5
	濁度、透明度、水温 SS、クロロフィルa、FSS、 塩分、COD、DO、pH	基本監視点 (St. 1, 3~7) 補助監視点 (St. 12, 13)	8地点	月1回	8/5
	全窒素、全燐、 大腸菌数、大腸菌群数、 ノルマルヘキサン抽出物質 (注)大腸菌群数はSt. 8, 11のみ	基本監視点 (St. 1, 3~7) 補助監視点 (St. 8, 12, 13) 放流水 (St. 11)	10地点	年4回	8/5
	フェノール類、銅、亜鉛、 総クロム、溶解性鉄、 溶解性マンガ、硝酸性窒素、 亜硝酸性窒素	補助監視点 (St. 9 <sup>注</sup> )	1地点	年1回	—
	カドミウム、全シアン、有機燐、 鉛、六価クロム、砒素、 総水銀、アルキル水銀、 PCB、ジクロロメタン、 四塩化炭素、 1,2-ジクロロエタン、 1,1-ジクロロエチレン、 シス-1,2-ジクロロエチレン、 1,1,1-トリクロロエタン、 1,1,2-トリクロロエタン、 トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、 1,3-ジクロロプロペン、 チウラム、シマジン、 チオベンカルブ、 ベンゼン、セレン、硝酸性窒素 及び亜硝酸性窒素、 ほう素、ふっ素、 1,4-ジオキサン、アンモニア等、 クロロエチレン、 1,2-ジクロロエチレン (注)有機燐及びほう素は St. 8, 9, 11のみ、クロロエチレン 及び1,2-ジクロロエチレンは St. 12, 13のみ測定	基本監視点 (St. 1, 3~7) 補助監視点 (St. 12, 13)	8地点	年2回	8/5
		補助監視点 (St. 8)	1地点	年4回	8/5
		放流水 (St. 11)	1地点	年4回	8/5
		補助監視点 (St. 9 <sup>注</sup> )	1地点	年1回	—
	放流水 (St. 11) 補助監視点 (St. 8) 補助監視点 (St. 12, 13)	4地点	年4回	8/5	

注:St.9は埋立ての進捗に伴って、内水が消滅したため、令和3年度より測定していない。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	頻度	実施日
底質	含水率、粒度組成、 COD、強熱減量、 全窒素、硫化物、 全リン、カドミウム、シアン、 有機リン、鉛、六価クロム、 PCB、砒素、総水銀、 アルキル水銀、トリクロエチレン、 テトラクロエチレン、 銅、亜鉛、ふっ素	基本監視点 (St. 1, 3~7)	6地点	年2回	8/18
海生生物	底生生物、プランクトン	基本監視点 (St. 1, 3~7)	6地点	年4回	8/5, 18
	魚卵・稚仔魚				8/18
	付着生物	St. 14, 15	2地点		8/14
	漁業生物	St. 16, 17	2地点		8/18~19
悪臭	臭気強度、臭気濃度	D 1, D 2	2地点 風上・風下	年2回	8/21
	悪臭物質 (悪臭防止法22物質)	E	1地点	年1回	8/21
発生ガス	メタン濃度	F 1, F 2	2地点	年2回	8/21

その他大阪湾広域臨海環境整備センターが自主的に実施した令和7年8月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	頻度	実施日
水質	ノニルフェノール、 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸 及びその塩(LAS)	基本監視点 (St. 1, 3~7)	6地点	年1回	8/5

## 1.3 環境監視の結果

### 〔1〕 海域調査

#### (1) 水質

水質の調査結果を表1-2～表1-4に示す。

#### ① 日調査

##### 放流水（表1-2）

[管理型排水処理施設放流水(St. 11)]

濁度はく1～4度(カリン)、CODは20～23mg/L(管理基準値60mg/L)、pHは7.5～8.3(管理基準値5.0以上9.0以下)であり、特に問題のない結果であった。

#### ② 週調査

##### 内水（表1-3）

[管理型区画内水(St. 8)]

SSは3～4mg/L、CODは8.7～24mg/Lであった。

[安定型区画内水(St. 9)]

埋立ての進捗に伴って、内水が消滅したため、令和3年度より測定をしていない。

##### 放流水（表1-3）

[管理型排水処理施設放流水(St. 11)]

放流水のSSは2～5mg/L(管理基準値50mg/L)であった。

#### ③ 月調査

##### 海域（表1-4(1)）

[基本監視点(St. 1, 3～7)]

(表層)

濁度は全監視点1度(カリン)(目安値11度(カリン))、FSSはく1～1mg/L(監視基準値5mg/L)、CODは3.3～3.6mg/L、DOは6.9～7.6mg/L、pHは全監視点8.4であり、COD及びpH以外は特に問題のない結果であった。

CODについては、監視点St. 6(3.5mg/L)で環境基準(B類型; 3mg/L以下)を上回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は上層で1.7～12mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

pHについては、監視点St. 1, 3～7(8.4)で環境基準(B類型; 7.8～8.3、C類型; 7.0～8.3)を上回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は上層で7.9～8.8であ

り、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

(底層)

濁度は2～7度(カリン) (目安値9度(カリン))、FSSは1～3 mg/L (監視基準値7 mg/L)、CODは2.3～3.3 mg/L、DOは4.6～6.6 mg/L、pHは8.1～8.3であり、DO以外は特に問題のない結果であった。

なお、DOについては、監視点St. 6 (4.6 mg/L) で環境基準 (B類型 ; 5 mg/L以上) を下回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は下層で<0.5～9.6 mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

(参考) 環境基準

St. 1, 3, 4, 5, 7 : C類型 (COD 8 mg/L以下、DO 2 mg/L以上、pH7.0～8.3)

St. 6 : B類型 (COD 3 mg/L以下、DO 5 mg/L以上、pH7.8～8.3)

#### [補助監視点(St. 12, 13)]

(表層)

CODは3.6及び4.4 mg/L、DOは7.0及び6.9 mg/L、pHは両監視点ともに8.4でpH以外はC類型環境基準を満足していた。

なお、pHについては、監視点St. 12及び13 (8.4) で環境基準 (C類型 ; 7.0～8.3) を上回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は上層で7.9～8.8であり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

(底層)

CODは2.0及び2.9 mg/L、DOは3.2及び4.0 mg/L、pHは8.0及び8.2で、C類型環境基準を満足していた。

(参考) 環境基準

St. 12, 13 : C類型 (COD 8 mg/L以下、DO 2 mg/L以上、pH7.0～8.3)

#### 放流水 (表 1 - 4 (1))

##### [管理型排水処理施設放流水(St. 11)]

CODは21 mg/L (管理基準値60 mg/L)、pHは8.1 (管理基準値5.0以上9.0以下)、全窒素は27 mg/L (管理基準値60 mg/L) であった。

#### ④年 4回調査

##### 海 域 (表 1 - 4 (1) ~ (2) 、表 1 - 4 (4))

##### [基本監視点(St. 1, 3 ~ 7)]

(生活環境項目)

(表層)

全窒素は0.30～0.34mg/L、全燐は0.055～0.082mg/L、大腸菌数は<1～1CFU/100mL、ノルマルヘキサン抽出物質はいずれも報告下限値未満であり、全燐以外は特に問題のない結果であった。

全燐については、監視点St. 5, 6 (0.063～0.082mg/L) で環境基準 (類型Ⅲ ; 0.05mg/L以下) を上回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は上層で0.029～0.31mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

(底層)

全窒素は0.22～0.37mg/L、全燐は0.048～0.067mg/Lであり、全燐以外は特に問題のない結果であった。

なお、全燐については、監視点St. 6 (0.053mg/L) で環境基準 (類型Ⅲ ; 0.05mg/L以下) を上回っていた。事業実施前の当海域における水質調査の結果は下層で0.020～0.19mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業による影響は非常に小さいと考えられる。

(参考) 環境基準

St. 1, 3, 5, 7 : 類型Ⅳ (全窒素 1 mg/L 以下、全燐0.09mg/L 以下)

St. 5, 6 : 類型Ⅲ (全窒素0.6mg/L 以下、全燐0.05mg/L 以下)

St. 1, 3～7 : 大腸菌数 (B・C類型は基準なし)

St. 6 : n-ヘキサン抽出物質 (B類型 検出されないこと。C類型は基準なし。)

(特殊項目)

(表層)

銅は<0.001～0.003mg/L、亜鉛は0.002～0.005mg/L、溶解性鉄は<0.01～0.01mg/Lであり、その他の項目はいずれも報告下限値未満であった。

(底層)

亜鉛は0.001～0.003mg/L、溶解性鉄は<0.01～0.02mg/L、亜硝酸性窒素は<0.005～0.020mg/Lであり、その他の項目はいずれも報告下限値未満であった。

[補助監視点 (St. 12, 13)]

(生活環境項目)

(表層)

全窒素は0.46及び0.61mg/L、全燐は0.070及び0.072mg/L、大腸菌数は<1及び1CFU/100mL、ノルマルヘキサン抽出物質は両監視点ともに報告下限値未満であり、特に問題のない結果であった。

(底層)

全窒素は0.36及び0.33mg/L、全燐は0.054及び0.074mg/Lであり、特に問題のない結果であった。

(参考) 環境基準

St. 12, 13 : 類型Ⅳ (全窒素 1 mg/L 以下、全燐0.09mg/L 以下)

C 類型 (大腸菌数基準なし、n-ヘキサン抽出物質基準なし)

**(特殊項目)**

**(表層)**

銅は両監視点とも0.001mg/L、亜鉛は0.012及び0.005mg/L、硝酸性窒素は0.04及び0.05mg/Lであり、その他の項目はいずれも報告下限値未満であった。

**(底層)**

銅は0.002及び<0.001mg/L、亜鉛は0.007及び0.002mg/L、亜硝酸性窒素は0.013及び<0.005mg/Lであり、その他の項目はいずれも報告下限値未満であった。

**(ダイオキシン類)**

ダイオキシン類は0.060及び0.072pg-TEQ/L (SSは2及び3 mg/L)であり、環境基準(1 pg-TEQ/L以下)を満足していた。

**内 水 (表 1 - 4 (1) ~ (4))**

**[管理型区画内水(St. 8)]**

**(一般項目)**

FSSは<1 mg/Lであった。

**(生活環境項目)**

全窒素は28mg/L、全磷は0.025mg/L、大腸菌数は<1 CFU/100mL、大腸菌群数は160個/cm<sup>3</sup>、ノルマルヘキサン抽出物質は報告下限値未満であった。

**(特殊項目)**

溶解性マンガンは0.01mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

**(健康項目)**

ほう素は1.1mg/L、ふっ素は1.8mg/L、アンモニア等は9.6mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

**(ダイオキシン類)**

ダイオキシン類は0.00037pg-TEQ/L、SSは3 mg/Lであった。

**放 流 水 (表 1 - 4 (1) ~ (4))**

**[管理型排水処理施設放流水(St. 11)]**

**(生活環境項目)**

全窒素は27mg/L(管理基準値60mg/L)、全磷は0.026mg/L(管理基準値8 mg/L)、大腸菌数は<1 CFU/100 mL、大腸菌群数は140個/cm<sup>3</sup>であり、ノルマルヘキサン抽出物質は報告下限値未満であった。

**(特殊項目)**

溶解性マンガンは0.01mg/L、亜硝酸性窒素は0.04mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

(健康項目)

ほう素は1.2mg/L、ふっ素は1.8mg/L、アンモニア等は9.6mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

(ダイオキシン類)

ダイオキシン類は0.00029pg-TEQ/L、SSは2mg/Lで、ダイオキシン類の管理基準値(10pg-TEQ/L)、さらにSSの管理基準値(50mg/L)を下回っていた。

⑤年2回調査

海 域 (表 1 - 4 (3))

[基本監視点(St. 1, 3~7)]

(健康項目)

砒素は0.003~0.004mg/L、ふっ素は0.71~0.78mg/L、アンモニア等は<0.01~0.01mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

[補助監視点(St. 12, 13)]

(健康項目)

(表層)

砒素は0.004及び0.003mg/L、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素は0.045及び0.055mg/L、ふっ素は0.79及び0.78mg/L、アンモニア等は0.07及び0.06mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

(底層)

砒素は両監視点ともに0.004mg/L、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素は0.053及び<0.045mg/L、ふっ素は0.88及び0.95mg/L、アンモニア等は0.06及び0.05mg/Lであり、その他の項目は報告下限値未満であった。

⑥年1回調査

海 域 (表 1 - 4 (1))

[基本監視点(St. 1, 3~7)]

(生活環境項目：ノニルフェノール及び直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS))

ノニルフェノールは全監視点で報告下限値未満、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)は<0.1~0.2μg/Lであり、特に問題のない結果であった。

(参考) 環境基準

St. 1, 3~7 : 海域生物A類型 (ノニルフェノール1μg/L以下、  
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)10μg/L以下)

## 内 水（表 1 - 4（2）～（3））

〔安定型区画内水(St. 9)〕

埋立ての進捗に伴って、内水が消滅したため、令和 3 年度より測定をしていない。

## （2） 底質

底質の調査結果を表 1 - 5 に示す。

### ① 年 2 回 調 査

#### 海 域（表 1 - 5（1）～（2））

〔基本監視点(St. 1, 3～7)〕

シルト分以下(シルト、粘土)の占める割合は93.7～98.9%であった。その他の項目については、強熱減量が7.9～10%、CODsedが15～45mg/g乾泥、硫化物が0.3～1.7mg/g乾泥、全窒素が1,200～2,300mg/kg乾泥、全磷が420～590mg/kg乾泥であった。

また、健康項目のうち、検出された項目は、カドミウムが0.27～0.76mg/kg乾泥、鉛が35～52mg/kg乾泥、砒素が6.4～9.5mg/kg乾泥、総水銀が0.20～0.41mg/kg乾泥、銅が26～38mg/kg乾泥、亜鉛が130～250mg/kg乾泥、ふっ素が100～140mg/kg乾泥であった。

## （3） 海 生 生 物

海生生物の調査結果を表 1 - 6～表 1 - 12及び図 1 - 2 に示す。

### ① 年 4 回 調 査

#### 7) 植物プランクトン（表 1 - 6（1）～（2））

種類数が表層では22～27種類（総種類数41種類）、底層では21～30種類（総種類数49種類）の範囲にあり、細胞数は表層では676～1,131細胞/mL、底層では491～1,038細胞/mLの範囲であった。

#### 4) 動物プランクトン（表 1 - 7）

種類数が26～37種類（総種類数47種類）の範囲にあり、個体数は30,527～125,991個体/m<sup>3</sup>の範囲であった。

#### 5) 魚 卵（表 1 - 8）

種類数が2～4種類（総種類数4種類）であり、個数は4,509～21,368個/1,000 m<sup>3</sup>の範囲であった。

#### 6) 稚 仔 魚（表 1 - 9）

種類数が2～5種類（総種類数5種類）の範囲にあり、個体数は16～148個体/1,000 m<sup>3</sup>の範囲であった。

オ) 底生生物 (表 1-10)

種類数が 0~10種類 (総種類数17種類) の範囲にあり、個体数は 0~139個体/0.1 m<sup>2</sup> の範囲であった。

カ) 付着生物 (表 1-11(1)~(4))

[ベルトトランセクト法による観察]

種類数は植物が調査点14で 9種類、調査点15で 7種、動物が調査点14で 23種類、調査点15で19種類観察された。

鉛直分布では調査点14及び15ともに、動物のカンザシゴカイ科の被覆率が広範囲で高く、イソギンチャク目が広範囲で多くみられた。

[坪刈り調査]

植物は種類数が両地点で 0~7種類 (総種類数10種類) の範囲にあり、湿重量は 0~7.7g/0.09 m<sup>2</sup> の範囲にあった。動物は種類数が両地点で 15~45種類 (総種類数83種類) の範囲にあり、個体数は 218~6,620個体/0.09 m<sup>2</sup>、湿重量は 3.8~88.2g/0.09 m<sup>2</sup> の範囲であった。

キ) 漁業生物 (表 1-12(1)~(2))

種類数は調査点16が12種類、調査点17が 6種類 (総種類14種類)、個体数では調査点16が261個体/網、調査点17が53個体/網、さらに湿重量では調査点16が 28,646.1 g /網、調査点17が 23,241.4 g /網であった。

## 〔 2 〕 陸域 調査

### ( 1 ) 悪臭 (表 1 - 13 ~ 表 1 - 15)

#### ① 臭気濃度、臭気強度

悪臭の調査結果を表 1 - 13 に示す。

臭気濃度及び臭気指数は D 1 (風上)・D 2 (風下) とともに 10 であった。また臭気強度は両地点ともに 0 で、臭質はいずれも無臭であった。

#### ② 悪臭物質

悪臭物質の調査結果を表 1 - 14 に示す。

E 地点における悪臭物質の測定結果はすべて報告下限値未満であった。

### ( 2 ) 発生ガス (表 1 - 15)

発生ガス調査結果を表 1 - 15 に示す。

発生ガス中のメタン濃度は F 1 地点が 148ppm、F 2 地点が 6.7ppm であった。なお、環境大気中のメタン濃度は F 1 地点が 5.3ppm、F 2 地点が 4.6ppm であった。

F 1 地点についてはアスファルト舗装されているため、平成 19 年度の調査から高濃度の値が検出されていた。平成 27 年 2 月以降は低い値で推移していた。令和 3 年 2 月において近年では比較的高い値が検出されていたが、令和 3 年度以降は再び減少傾向に転じている。〔(参考：F 1 地点の濃度)H19 年 8 月：380,000ppm(38%)、H20 年 8 月：280,000ppm(28%)、H21 年 2 月：160,000ppm(16%)、H21 年 8 月：220,000ppm(22%)、H22 年 2 月：17,000ppm(1.7%)、H22 年 8 月：37,000ppm(3.7%)、H23 年 2 月：200,000ppm(20%)、H23 年 8 月：380,000ppm(38%)、H24 年 2 月：290,000ppm(29%)、H24 年 8 月：58,000ppm(5.8%)、H25 年 2 月：17,000ppm(1.7%)、H25 年 8 月：42,000ppm(4.2%)、H26 年 2 月：15,000ppm(1.5%)、H26 年 8 月：6,400ppm(0.6%)、H27 年 2 月：2.0ppm(0.0%)、H27 年 8 月：2,200ppm(0.2%)、H28 年 2 月：440ppm(0.0%)、H28 年 8 月：920ppm(0.1%)、H29 年 2 月：2.5ppm(0.0%)、H29 年 8 月：170ppm(0.0%)、H30 年 2 月：110ppm(0.0%)、H30 年 8 月：3,600ppm(0.4%)、H31 年 2 月：16ppm(0.0%)、R 1 年 8 月：350ppm(0.0%)、R 2 年 2 月：5.2ppm(0.0%)、R 2 年 8 月：1,800ppm(0.2%)、R 3 年 2 月：85,000ppm(8.5%)、R 3 年 8 月：34,000ppm(3.4%)、R 4 年 2 月：15,000ppm(1.5%)、R 4 年 8 月：300ppm(0.0%)、R 5 年 2 月：33ppm(0.0%)、R 5 年 8 月：34ppm(0.0%)、R 6 年 2 月：630ppm(0.1%)、R 6 年 8 月：3.5ppm(0.0%)、R 7 年 2 月：3.0ppm(0.0%)〕。

## 2 環境監視結果

# 海域調査結果



表 1 - 2 放流水の測定結果[日調査] (令和 7 年 8 月)

測定日 (曜日)	濁度 (度(カオリン)) MIN.~MAX.	水温 (°C) MIN.~MAX.	COD (mg/L) MIN.~MAX.	DO (mg/L) MIN.~MAX.	pH (-) MIN.~MAX.
1(金)	1 ~ 1 ( 1 )	30.8 ~ 31.8 ( 31.3 )	20 ~ 21 ( 20 )	5.8 ~ 6.3 ( 6.1 )	8.1 ~ 8.2 ( - )
2(土)	<1 ~ 2 ( 1 )	30.8 ~ 31.7 ( 31.2 )	20 ~ 20 ( 20 )	5.8 ~ 6.2 ( 6.0 )	8.1 ~ 8.2 ( - )
3(日)	1 ~ 2 ( 1 )	30.8 ~ 31.8 ( 31.3 )	20 ~ 21 ( 20 )	5.8 ~ 6.2 ( 6.0 )	8.1 ~ 8.2 ( - )
4(月)	1 ~ 2 ( 1 )	28.8 ~ 31.8 ( 31.4 )	20 ~ 21 ( 20 )	5.8 ~ 6.2 ( 6.0 )	8.1 ~ 8.2 ( - )
5(火)	1 ~ 2 ( 2 )	30.8 ~ 31.6 ( 31.1 )	20 ~ 21 ( 20 )	5.8 ~ 6.3 ( 6.1 )	8.1 ~ 8.2 ( - )
6(水)	2 ~ 2 ( 2 )	30.8 ~ 31.9 ( 31.3 )	20 ~ 21 ( 21 )	5.8 ~ 6.3 ( 6.1 )	8.1 ~ 8.2 ( - )
7(木)	2 ~ 2 ( 2 )	30.7 ~ 31.6 ( 31.3 )	20 ~ 21 ( 21 )	5.7 ~ 6.2 ( 6.0 )	8.1 ~ 8.2 ( - )
8(金)	2 ~ 3 ( 2 )	29.7 ~ 31.1 ( 30.4 )	20 ~ 21 ( 21 )	5.7 ~ 6.4 ( 6.0 )	8.1 ~ 8.3 ( - )
9(土)	2 ~ 2 ( 2 )	30.0 ~ 30.7 ( 30.2 )	21 ~ 21 ( 21 )	5.6 ~ 6.3 ( 6.0 )	8.2 ~ 8.3 ( - )
10(日)	2 ~ 2 ( 2 )	29.0 ~ 30.0 ( 29.7 )	21 ~ 22 ( 21 )	5.7 ~ 6.2 ( 6.0 )	8.2 ~ 8.3 ( - )
11(月)	2 ~ 3 ( 2 )	27.9 ~ 29.1 ( 28.4 )	21 ~ 22 ( 21 )	5.9 ~ 6.6 ( 6.2 )	8.2 ~ 8.3 ( - )
12(火)	3 ~ 4 ( 3 )	27.6 ~ 29.2 ( 27.9 )	21 ~ 22 ( 21 )	6.1 ~ 7.1 ( 6.6 )	8.0 ~ 8.2 ( - )
13(水)	2 ~ 3 ( 3 )	27.7 ~ 29.1 ( 28.5 )	21 ~ 22 ( 21 )	6.6 ~ 7.1 ( 6.9 )	8.0 ~ 8.0 ( - )
14(木)	2 ~ 3 ( 2 )	29.1 ~ 30.5 ( 30.0 )	21 ~ 22 ( 21 )	6.3 ~ 6.9 ( 6.6 )	7.9 ~ 8.0 ( - )
15(金)	2 ~ 2 ( 2 )	30.4 ~ 31.4 ( 30.8 )	21 ~ 22 ( 21 )	6.2 ~ 6.7 ( 6.5 )	7.9 ~ 8.1 ( - )
16(土)	2 ~ 3 ( 2 )	30.9 ~ 31.9 ( 31.3 )	21 ~ 22 ( 21 )	6.0 ~ 6.6 ( 6.3 )	8.0 ~ 8.1 ( - )

測定日 (曜日)	濁度 (度(カオリン)) MIN.~MAX.	水温 (°C) MIN.~MAX.	COD (mg/L) MIN.~MAX.	DO (mg/L) MIN.~MAX.	pH (-) MIN.~MAX.
17(日)	2 ~ 3 ( 3 )	31.1 ~ 31.9 ( 31.4 )	21 ~ 22 ( 22 )	6.0 ~ 6.5 ( 6.3 )	8.0 ~ 8.1 ( - )
18(月)	3 ~ 3 ( 3 )	30.5 ~ 31.9 ( 31.4 )	21 ~ 23 ( 22 )	6.0 ~ 6.9 ( 6.4 )	8.0 ~ 8.1 ( - )
19(火)	3 ~ 3 ( 3 )	31.2 ~ 32.1 ( 31.5 )	21 ~ 22 ( 22 )	6.2 ~ 6.7 ( 6.5 )	8.0 ~ 8.1 ( - )
20(水)	3 ~ 3 ( 3 )	31.0 ~ 32.0 ( 31.4 )	21 ~ 22 ( 22 )	6.1 ~ 6.7 ( 6.5 )	7.9 ~ 8.1 ( - )
21(木)	3 ~ 4 ( 3 )	30.2 ~ 32.0 ( 31.3 )	21 ~ 22 ( 22 )	6.1 ~ 7.7 ( 6.7 )	7.9 ~ 8.0 ( - )
22(金)	3 ~ 3 ( 3 )	30.9 ~ 31.9 ( 31.3 )	21 ~ 22 ( 22 )	7.0 ~ 7.1 ( 7.1 )	7.9 ~ 8.0 ( - )
23(土)	3 ~ 4 ( 3 )	30.8 ~ 31.6 ( 31.1 )	21 ~ 22 ( 22 )	7.0 ~ 7.2 ( 7.1 )	7.9 ~ 8.0 ( - )
24(日)	2 ~ 3 ( 2 )	30.7 ~ 31.6 ( 31.1 )	21 ~ 22 ( 22 )	6.9 ~ 7.1 ( 7.0 )	7.9 ~ 8.0 ( - )
25(月)	2 ~ 3 ( 2 )	30.5 ~ 31.8 ( 31.2 )	21 ~ 22 ( 22 )	5.9 ~ 7.0 ( 6.6 )	7.9 ~ 8.0 ( - )
26(火)	2 ~ 3 ( 2 )	30.8 ~ 31.8 ( 31.2 )	21 ~ 22 ( 22 )	5.9 ~ 6.4 ( 6.2 )	7.9 ~ 8.0 ( - )
27(水)	2 ~ 3 ( 2 )	30.5 ~ 31.5 ( 30.9 )	20 ~ 22 ( 22 )	5.9 ~ 6.4 ( 6.2 )	7.9 ~ 8.0 ( - )
28(木)	2 ~ 3 ( 2 )	30.4 ~ 31.5 ( 30.9 )	21 ~ 22 ( 22 )	5.9 ~ 6.5 ( 6.2 )	7.9 ~ 8.0 ( - )
29(金)	2 ~ 3 ( 2 )	30.7 ~ 31.7 ( 31.1 )	21 ~ 22 ( 22 )	4.9 ~ 6.5 ( 6.0 )	7.9 ~ 8.0 ( - )
30(土)	2 ~ 2 ( 2 )	30.6 ~ 31.4 ( 31.0 )	21 ~ 22 ( 22 )	1.5 ~ 5.2 ( 3.3 )	7.6 ~ 7.9 ( - )
31(日)	2 ~ 2 ( 2 )	30.0 ~ 31.4 ( 30.8 )	21 ~ 23 ( 22 )	<0.5 ~ 1.8 ( 0.7 )	7.5 ~ 7.6 ( - )
8 月 集計結果	<1 ~ 4 ( 2 )	27.6 ~ 32.1 ( 30.8 )	20 ~ 23 ( 21 )	<0.5 ~ 7.7 ( 6.1 )	7.5 ~ 8.3 ( - )

注: ( )内は平均値を示す。

表 1 - 3 放流水、内水の測定結果 [週調査] (令和 7 年 8 月)

調 査 日	調査地点 (St.)		透明度 (m)	水 温 (°C)	SS (mg/L)	CODMn (mg/L)	DO (mg/L)	pH (-)	T-N (mg/L)
8月5日 (火)	8		1.3	32.8	3	21	5.2	8.3	28
	11		-	32.4	2	21	-	8.1	27
8月12日 (火)	8		1.2	27.7	4	8.7	5.4	7.9	31
	11		-	28.0	4	-	-	-	31
8月19日 (火)	8		1.4	30.4	4	22	5.4	8.0	25
	11		-	28.6	5	-	-	-	23
8月26日 (火)	8		1.4	30.7	4	24	4.5	7.9	20
	11		-	28.6	5	-	-	-	22
	8		-	-	-	-	-	-	-
	11		-	-	-	-	-	-	-
集 計 結 果	調査地点 (St.)		透明度 (m)	水 温 (°C)	SS (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	pH (-)	T-N (mg/L)
	8 [管理型内水]	最大値	1.4	32.8	4	24	5.4	8.3	31
		最小値	1.2	27.7	3	8.7	4.5	7.9	20
		平均値	1.3	30.4	4	19	5.1	-	26
	11 [放流水]	最大値	-	32.4	5	21	-	8.1	31
		最小値	-	28.0	2	-	-	-	22
		平均値	-	29.4	4	-	-	-	26

表 1 - 4 ( 1 ) 基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果  
 [月調査・年 4 回・年 1 回調査] (一般項目及び生活環境項目) (令和 7 年 8 月)

調査年月日：令和7年8月5日

監視区分 項目 地点番号	基本監視点									内水	放流水	補助監視点			
	1	3	4	5	6	7	最小値	～	最大値	平均値	8	11	12	13	
調査時刻	-	10:46	10:21	10:06	9:50	9:35	9:18	-	～	-	-	12:24	12:13	8:47	9:04
濁度 (度(カリン))	表層	1	1	1	1	1	1	1	～	1	1	-	-	1	1
	底層	2	2	6	7	5	2	2	～	7	4	-	-	3	4
透明度 (m)	-	2.2	1.9	2.5	2.4	1.8	2.3	1.8	～	2.5	2.2	1.3	-	2.5	2.1
水温 (°C)	表層	29.6	29.6	29.6	29.6	29.6	29.7	29.6	～	29.7	29.6	32.8	32.4	29.5	29.7
	底層	28.8	27.0	25.3	25.4	25.2	25.9	25.2	～	28.8	26.3			25.7	26.0
SS (mg/L)	表層	2	2	1	2	1	2	1	～	2	2	3	2	2	3
	底層	2	2	2	3	5	2	2	～	5	3			3	2
クロロフィルa (μg/L)	表層	3	2	3	2	2	3	2	～	3	3	6	3	4	8
	底層	-	-	-	-	-	-	-	～	-	-			-	-
FSS (mg/L)	表層	1	1	<1	1	<1	<1	<1	～	1	1	<1	<1	<1	1
	底層	1	1	1	2	3	1	1	～	3	2			1	1
塩分 (%)	表層	29.2	29.3	29.2	29.1	29.1	29.0	29.0	～	29.3	29.2	11.8	-	28.6	27.3
	底層	29.8	30.9	32.0	32.1	32.2	32.1	29.8	～	32.2	31.5			32.1	32.1
COD (mg/L)	表層	3.4	3.3	3.6	3.3	3.5	3.5	3.3	～	3.6	3.4	21	21	3.6	4.4
	底層	3.3	3.1	3.0	3.0	2.3	3.3	2.3	～	3.3	3.0			2.0	2.9
DO (mg/L)	表層	7.0	6.9	7.0	7.6	7.3	7.5	6.9	～	7.6	7.2	5.2	6.1	7.0	6.9
	底層	6.6	5.7	5.7	5.9	4.6	5.8	4.6	～	6.6	5.7			3.2	4.0
pH	表層	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	8.4	～	8.4	-	8.3	8.1	8.4	8.4
	底層	8.3	8.2	8.3	8.3	8.1	8.3	8.1	～	8.3	-			8.0	8.2
全窒素 (mg/L)	表層	0.32	0.32	0.31	0.30	0.32	0.34	0.30	～	0.34	0.32	28	27	0.46	0.61
	底層	0.31	0.37	0.22	0.31	0.33	0.28	0.22	～	0.37	0.30			0.36	0.33
全燐 (mg/L)	表層	0.055	0.062	0.056	0.063	0.082	0.063	0.055	～	0.082	0.064	0.025	0.026	0.070	0.072
	底層	0.052	0.051	0.050	0.048	0.053	0.067	0.048	～	0.067	0.054			0.054	0.074
大腸菌数 (CFU/100mL)	表層	1	1	<1	<1	1	1	<1	～	1	1	<1	<1	<1	1
	底層	-	-	-	-	-	-	-	～	-	-			-	-
大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	表層	-	-	-	-	-	-	-	～	-	-	160	140	-	-
	底層	-	-	-	-	-	-	-	～	-	-			-	-
ノニルフェノール抽出物質 (mg/L)	表層	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	～	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
	底層	-	-	-	-	-	-	-	～	-	-			-	-
ノニルフェノール (μg/L)	表層	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	～	<0.06	<0.06	-	-	-	-
	底層	-	-	-	-	-	-	-	～	-	-			-	-
直鎖アキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (μg/L)	表層	0.1	0.1	0.2	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	～	0.2	0.1	-	-	-	-
	底層	-	-	-	-	-	-	-	～	-	-			-	-

注：1. 採水層は、表層は海面下1m、底層は海底上2mである。

2. 内水放流水の大腸菌数の単位は、CFU/mLである。

表 1 - 4 ( 2 ) 基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果  
 [年 4 回調査] (特殊項目) (令和 7 年 8 月)

調査年月日：令和7年8月5日

項目	監視区分 地点番	基 本 監 視 点								内 水	放流水	補助監視点	
		1	3	4	5	6	7	最小値 ~ 最大値	平均値	8	11	12	13
調査時刻	-	10:46	10:21	10:06	9:50	9:35	9:18	- ~ -	-	12:24	12:13	8:47	9:04
フェノール類 (mg/L)	表層	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005 ~ <0.005	<0.005	<0.01	<0.01	<0.005	<0.005
	底層	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005 ~ <0.005	<0.005			<0.005	<0.005
銅 (mg/L)	表層	0.001	<0.001	0.001	0.001	<0.001	0.003	<0.001 ~ 0.003	0.001	<0.005	<0.005	0.001	0.001
	底層	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001 ~ <0.001	<0.001			0.002	<0.001
亜鉛 (mg/L)	表層	0.002	0.002	0.005	0.002	0.004	0.005	0.002 ~ 0.005	0.003	<0.005	<0.005	0.012	0.005
	底層	0.002	0.001	0.001	0.003	0.002	0.003	0.001 ~ 0.003	0.002			0.007	0.002
総クロム (mg/L)	表層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01 ~ <0.01	<0.01	<0.03	<0.03	<0.01	<0.01
	底層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01 ~ <0.01	<0.01			<0.01	<0.01
溶解性鉄 (mg/L)	表層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01 ~ 0.01	0.01	<0.08	<0.08	<0.01	<0.01
	底層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	<0.01 ~ 0.02	0.01			<0.01	<0.01
溶解性マンガン (mg/L)	表層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01 ~ <0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01	<0.01
	底層	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01 ~ <0.01	<0.01			<0.01	<0.01
硝酸性窒素 (mg/L)	表層	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04 ~ <0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.04	0.05
	底層	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04 ~ <0.04	<0.04			<0.04	<0.04
亜硝酸性窒素 (mg/L)	表層	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005 ~ <0.005	<0.005	<0.04	0.04	<0.005	<0.005
	底層	<0.005	0.009	<0.005	<0.005	0.020	<0.005	<0.005 ~ 0.020	0.008			0.013	<0.005

注：採水層は、表層は海面下1m、底層は海底上2mである。

表1-4(3) 基本監視点、内水、放流水及び補助監視点の測定結果  
[年4回・年2回調査](健康項目)(令和7年8月)

調査年月日：令和7年8月5日

監視区分 項目	地点番号	基本監視点									内水	放流水	補助監視点		
		1	3	4	5	6	7	最小値	～	最大値	平均値	8	11	12	13
カドミウム (mg/L)	表層	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	～	<0.0003	<0.0003	<0.005	<0.005	<0.0003	<0.0003
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0003	<0.0003
全シアン (mg/L)	表層	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	～	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.1	<0.1
有機燐 (mg/L)	表層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	<0.1	<0.1	—	—	
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—			—	—	—
鉛 (mg/L)	表層	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	～	<0.002	<0.002	<0.005	<0.005	<0.002	<0.002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.002	<0.002
六価クロム (mg/L)	表層	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	～	<0.002	<0.002	<0.02	<0.02	<0.002	<0.002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.002	<0.002
砒素 (mg/L)	表層	0.003	0.003	0.003	0.003	0.004	0.004	0.003	～	0.004	0.003	<0.005	<0.005	0.004	0.003
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			0.004	0.004
総水銀 (mg/L)	表層	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	～	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0005	<0.0005
アルキル水銀 (mg/L)	表層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	—	—
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	—	—
P C B (mg/L)	表層	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	～	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0005	<0.0005
ジクロロメタン (mg/L)	表層	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	～	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.002	<0.002
四塩化炭素 (mg/L)	表層	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	～	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン (mg/L)	表層	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	～	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	表層	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	～	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.002	<0.002
ス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	表層	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	～	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.004	<0.004
1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	表層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.004	<0.004
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)	表層	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	～	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0005	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)	表層	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン (mg/L)	表層	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	～	<0.001	<0.001	<0.002	<0.002	<0.001	<0.001
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン (mg/L)	表層	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	～	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン (mg/L)	表層	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	～	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0002	<0.0002
チウラム (mg/L)	表層	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	～	<0.0006	<0.0006	<0.006	<0.006	<0.0006	<0.0006
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0006	<0.0006
シマジン (mg/L)	表層	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	～	<0.0003	<0.0003	<0.003	<0.003	<0.0003	<0.0003
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ (mg/L)	表層	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	～	<0.002	<0.002	<0.02	<0.02	<0.002	<0.002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.002	<0.002
ベンゼン (mg/L)	表層	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	～	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.001	<0.001
セレン (mg/L)	表層	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	～	<0.002	<0.002	<0.005	<0.005	<0.002	<0.002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.002	<0.002
1,4-ジオキササン (mg/L)	表層	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	～	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			<0.005	<0.005
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素(mg/L)	表層	<0.045	<0.045	<0.045	<0.045	<0.045	<0.045	<0.045	～	<0.045	<0.045	<0.08	<0.08	0.045	0.055
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			0.053	<0.045
ほう素 (mg/L)	表層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	1.1	1.2	—	—
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	—	—
ふっ素 (mg/L)	表層	0.74	0.71	0.74	0.78	0.76	0.77	0.71	～	0.78	0.75	1.8	1.8	0.79	0.78
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			0.88	0.95
アンモニア等 (mg/L)	表層	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	0.01	0.01	9.6	9.6	0.07	0.06
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—			0.06	0.05
クロロエチレン (mg/L)	表層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.0002	<0.0002
	底層	—	—	—	—	—	—	—	～	—	—	—	—	<0.0002	<0.0002

注：1. 採水層は、表層は海面下1m、底層は海底上2mである。  
2. アルキル水銀は、総水銀が定量下限値未満であったため、分析していない。  
3. St. 8、St. 11は年4回調査である。

表 1 - 4 ( 4 ) 内水、放流水及び補助監視点の測定結果  
 [年 4 回調査] (ダイオキシン類) (令和 7 年 8 月)

調査年月日：令和7年8月5日

項 目	監視区分	管理型区画内水	放流水	補助監視点	
	地点番号	8	11	12	13
ダイオキシン類	(pg-TEQ/L)	0.00037	0.00029	0.060	0.072
(管理基準値)	(pg-TEQ/L)	-	10	-	-
S S	(mg/L)	3	2	2	3
(管理基準値)	(mg/L)	-	50	-	-

注：毒性等価係数はWHO-TEF(2006)を適用した。

ダイオキシン類の毒性当量結果について

管理型区画内水、放流水：定量下限未満の測定値は実測濃度を0（ゼロ）として算出

補助監視点：検出下限以上の測定値はそのまま用い、検出下限未満の測定結果は検出下限の  
 1/2を用いて算出

表 1 - 5 ( 1 ) 底質 ( 海域 ) 測定結果 [ 年 2 回調査 ] ( 令和 7 年 8 月 )

項目		採取地点									調査年月日：令和7年8月18日		
		単位		1	3	4	5	6	7	最小値	～	最大値	平均値
調査時刻				11:00	10:45	10:34	10:23	10:07	9:45	—	～	—	—
泥温	(℃)	28.3	27.5	26.2	25.7	26.6	24.6	24.6	～	28.3	26.5		
含水率	(%)	65	61	64	71	65	73	61	～	73	67		
粒度組成	粗礫分 ( 19～75mm )	(%)	—	—	—	—	—	—	～	—	—		
	中礫分 ( 4.75～19mm )	(%)	0.1	—	—	—	—	—	0.1	～	0.1	0.1	
	細礫分 ( 2～4.75mm )	(%)	0.2	0.1	0.1	—	—	—	0.1	～	0.2	0.1	
	粗砂分 ( 0.85～2mm )	(%)	0.4	1.3	0.2	0.2	0.2	—	0.2	～	1.3	0.5	
	中砂分 ( 0.25～0.85mm )	(%)	2.1	2.7	0.8	0.6	0.6	0.4	0.4	～	2.7	1.2	
	細砂分 ( 0.075～0.25mm )	(%)	2.8	2.2	1.0	0.9	1.2	0.7	0.7	～	2.8	1.5	
	シルト分 ( 0.005～0.075mm )	(%)	76.7	74.6	81.7	82.4	81.8	81.0	74.6	～	82.4	79.7	
	粘土分 ( 0.005mm以下 )	(%)	17.7	19.1	16.2	15.9	16.2	17.9	15.9	～	19.1	17.2	
	シルト分以下 ( 0.075mm以下 )	(%)	94.4	93.7	97.9	98.3	98.0	98.9	93.7	～	98.9	96.9	
強熱減量 ( I.L )	(%)	7.9	8.4	8.3	9.6	9.4	10	7.9	～	10	8.9		
化学的酸素要求量 ( C O D s e d )	(mg/kg乾泥)	25	15	23	35	26	45	15	～	45	28		
硫化物 ( T - S )	(mg/kg乾泥)	0.7	0.3	0.5	1.0	0.5	1.7	0.3	～	1.7	0.8		
全窒素 ( T - N )	(mg/kg乾泥)	1700	1200	1600	2100	2200	2300	1200	～	2300	1900		
全磷 ( T - P )	(mg/kg乾泥)	470	420	430	580	540	590	420	～	590	510		

表 1 - 5 ( 2 ) 底質 ( 海域 ) 測定結果 [ 年 2 回調査 ] ( 令和 7 年 8 月 )

項目		採取地点									調査年月日：令和7年8月18日	
		単位		1	3	4	5	6	7	最小値	～	最大値
カドミウム	(mg/kg乾泥)	0.34	0.27	0.67	0.73	0.76	0.58	0.27	～	0.76	0.56	
シアン	(mg/kg乾泥)	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	～	<0.1	<0.1	
有機磷	(mg/kg乾泥)	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	～	<0.1	<0.1	
鉛	(mg/kg乾泥)	35	35	46	50	52	47	35	～	52	44	
六価クロム	(mg/kg乾泥)	<2	<2	<2	<2	<2	<2	<2	～	<2	<2	
砒素	(mg/kg乾泥)	7.6	8.5	8.4	9.0	9.5	6.4	6.4	～	9.5	8.2	
総水銀	(mg/kg乾泥)	0.26	0.25	0.39	0.25	0.41	0.20	0.20	～	0.41	0.29	
アルキル水銀	(mg/kg乾泥)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	<0.01	<0.01	
トリクロロエチレン	(mg/kg乾泥)	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	～	<0.05	<0.05	
テトラクロロエチレン	(mg/kg乾泥)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	<0.01	<0.01	
P C B	(mg/kg乾泥)	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	～	<0.01	<0.01	
銅	(mg/kg乾泥)	27	26	33	38	36	37	26	～	38	33	
亜鉛	(mg/kg乾泥)	150	130	220	250	250	210	130	～	250	200	
ふっ素	(mg/kg乾泥)	100	100	110	140	130	120	100	～	140	120	

表 1 - 6 ( 1 ) 植物プランクトン調査結果 (表層) (令和 7 年 8 月)

調査期日：令和7年8月5日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 <sup>注1)</sup>
種類数	23	26	27	25	22	24	41
細胞数 (細胞/mL)	1,029	676	801	817	1,131	999	909
沈殿量 (mL/L)	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
主 要 種 <sup>注2)</sup> 細胞数 (%)	リゾノレニア フラキリシマ 633 (61.5)	リゾノレニア フラキリシマ 408 (60.4)	リゾノレニア フラキリシマ 504 (62.9)	リゾノレニア フラキリシマ 417 (51.0)	リゾノレニア フラキリシマ 807 (71.4)	リゾノレニア フラキリシマ 525 (52.6)	リゾノレニア フラキリシマ 549 (60.4)
	キートクロス属 117 (11.4)	ギムノテニウム属 66 (9.8)	キートクロス属 87 (10.9)	ギムノテニウム属 102 (12.5)	ニッチア属 72 (6.4)	ギムノテニウム属 108 (10.8)	ニッチア属 72 (7.9)
	ニッチア属 99 (9.6)	クリプト藻綱 57 (8.4)	ギムノテニウム属 63 (7.9)	ニッチア属 81 (9.9)	クラシオテラ属 69 (6.1)	ニッチア属 87 (8.7)	ギムノテニウム属 71 (7.8)
	ギムノテニウム属 42 (4.1)	ニッチア属 51 (7.5)	ニッチア属 42 (5.2)	クラシオテラ科 54 (6.6)	キートクロス属 45 (4.0)	キートクロス属 84 (8.4)	キートクロス属 69 (7.6)
	クラシオテラ科 33 (3.2)	キートクロス属 27 (4.0)	クラシオテラ属 27 (3.4)	キートクロス属 54 (6.6)	ギムノテニウム属 42 (3.7)	クリプト藻綱 66 (6.6)	クリプト藻綱 37 (4.1)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点細胞数の組成比で上位5種を示す。

表 1 - 6 ( 2 ) 植物プランクトン調査結果 (底層) (令和 7 年 8 月)

調査期日：令和7年8月5日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 <sup>注1)</sup>
種類数	30	29	28	27	21	27	49
細胞数 (細胞/mL)	1,038	717	524	735	491	1,019	754
沈殿量 (mL/L)	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.1	<0.05	<0.05
主 要 種 <sup>注2)</sup> 細胞数 (%)	リゾノレニア フラキリシマ 723 (69.7)	リゾノレニア フラキリシマ 312 (43.5)	ニッチア属 138 (26.3)	ニッチア属 306 (41.6)	リゾノレニア フラキリシマ 168 (34.2)	リゾノレニア フラキリシマ 474 (46.5)	リゾノレニア フラキリシマ 339 (45.0)
	ギムノテニウム属 72 (6.9)	ニッチア属 150 (20.9)	リゾノレニア フラキリシマ 102 (19.5)	リゾノレニア フラキリシマ 255 (34.7)	ニッチア属 102 (20.8)	ニッチア属 159 (15.6)	ニッチア属 149 (19.8)
	キートクロス属 51 (4.9)	キートクロス属 66 (9.2)	キートクロス属 93 (17.7)	ギムノテニウム属 42 (5.7)	キートクロス属 45 (9.2)	キートクロス属 81 (7.9)	キートクロス属 62 (8.2)
	ニッチア属 39 (3.8)	ギムノテニウム属 48 (6.7)	クラシオテラ属 42 (8.0)	キートクロス属 36 (4.9)	クラシオネマ ニッチオイトニス 42 (8.6)	クラシオテラ科 78 (7.7)	ギムノテニウム属 51 (6.8)
	クラシオテラ属 21 (2.0)	クラシオテラ属 45 (6.3)	ギムノテニウム属 39 (7.4)	クリプト藻綱 33 (4.5)	クリプト藻綱 33 (6.7)	ギムノテニウム属 75 (7.4)	クリプト藻綱 33 (4.3)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点細胞数の組成比で上位5種を示す。

表 1 - 7 動物プランクトン調査結果 (令和 7 年 8 月)

調査期日：令和7年8月5日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 <sup>注1)</sup>
種類数	31	35	34	37	35	26	47
個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	64,769	122,846	125,991	84,315	69,746	30,527	83,032
沈殿量 (mL/m <sup>3</sup> )	4.3	13.8	9.0	6.5	5.5	1.8	6.8
主 要 種 <sup>注2)</sup> 個体数 (%)	オイトネ タウガイセー	オイトネ タウガイセー	オイトネ タウガイセー	オイトネ タウガイセー	オイトネ タウガイセー	オイトネ タウガイセー	オイトネ タウガイセー
	19,417 (30.0)	34,483 (28.1)	55,870 (44.3)	26,739 (31.7)	32,479 (46.6)	14,286 (46.8)	30,546 (36.8)
	ゾホ <sup>ラ</sup> ムシ属	オイトネ属の コベ <sup>ホ</sup> テイト <sup>期</sup> 期幼生	オイトネ属の コベ <sup>ホ</sup> テイト <sup>期</sup> 期幼生	多毛綱の幼生	オイトネ属の コベ <sup>ホ</sup> テイト <sup>期</sup> 期幼生	オイトネ属の コベ <sup>ホ</sup> テイト <sup>期</sup> 期幼生	オイトネ属の コベ <sup>ホ</sup> テイト <sup>期</sup> 期幼生
	11,408 (17.6)	18,103 (14.7)	21,522 (17.1)	10,000 (11.9)	9,829 (14.1)	5,595 (18.3)	12,262 (14.8)
	オイトネ属の コベ <sup>ホ</sup> テイト <sup>期</sup> 期幼生	カイアシ類の ノブ <sup>リ</sup> ウス 期幼生	二枚貝類の ウホ <sup>期</sup> 期幼生	オイトネ属の コベ <sup>ホ</sup> テイト <sup>期</sup> 期幼生	多毛綱の幼生	トゲ <sup>ナ</sup> エホ <sup>シ</sup> ミシ <sup>ン</sup> コ	カイアシ類の ノブ <sup>リ</sup> ウス 期幼生
	8,738 (13.5)	14,224 (11.6)	7,391 (5.9)	9,783 (11.6)	5,128 (7.4)	2,143 (7.0)	6,398 (7.7)
	カイアシ類の ノブ <sup>リ</sup> ウス 期幼生	ゾホ <sup>ラ</sup> ムシ属	カイアシ類の ノブ <sup>リ</sup> ウス 期幼生	カイアシ類の ノブ <sup>リ</sup> ウス 期幼生	カイアシ類の ノブ <sup>リ</sup> ウス 期幼生	多毛綱の幼生	ゾホ <sup>ラ</sup> ムシ属
5,097 (7.9)	9,698 (7.9)	6,957 (5.5)	6,739 (8.0)	4,060 (5.8)	1,548 (5.1)	4,566 (5.5)	
ウスカリミシ <sup>ン</sup> コ	ミクロセラ ノルベ <sup>シ</sup> カ	パ <sup>ラ</sup> カラス属の コベ <sup>ホ</sup> テイト <sup>期</sup> 期幼生	トゲ <sup>ナ</sup> エホ <sup>シ</sup> ミシ <sup>ン</sup> コ	二枚貝類の ウホ <sup>期</sup> 期幼生	カイアシ類の ノブ <sup>リ</sup> ウス 期幼生	二枚貝類の ウホ <sup>期</sup> 期幼生	
2,670 (4.1)	6,897 (5.6)	5,217 (4.1)	5,652 (6.7)	3,846 (5.5)	1,310 (4.3)	3,823 (4.6)	
パ <sup>ラ</sup> カラス属の コベ <sup>ホ</sup> テイト <sup>期</sup> 期幼生					二枚貝類の ウホ <sup>期</sup> 期幼生		
2,670 (4.1)					1,310 (4.3)		

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。

2. 主要種は各調査点での上位5種を示す。

表 1 - 8 魚 卵 調 査 結 果 ( 令 和 7 年 8 月 )

調査年月日：令和7年8月18日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 <sup>注1)</sup>
種類数	3	3	3	4	3	2	4
個体数(個体/1000m <sup>3</sup> )	9,132	4,509	4,626	21,368	13,037	10,109	10,464
主 要 種 <sup>注2)</sup> 個体数 (%)	単脂卵 (0.57~0.78mm) 6,853 (75.0)	単脂卵 (0.57~0.78mm) 3,545 (78.6)	単脂卵 (0.57~0.78mm) 3,357 (72.6)	カタクチイワシ 16,947 (79.3)	カタクチイワシ 8,976 (68.9)	カタクチイワシ 6,140 (60.7)	カタクチイワシ 6,093 (58.2)
	カタクチイワシ 2,273 (24.9)	カタクチイワシ 959 (21.3)	カタクチイワシ 1,261 (27.3)	単脂卵 (0.57~0.78mm) 4,397 (20.6)	単脂卵 (0.57~0.78mm) 4,057 (31.1)	単脂卵 (0.57~0.78mm) 3,969 (39.3)	単脂卵 (0.57~0.78mm) 4,363 (41.7)
	サッパ 6 (0.1)	サッパ 5 (0.1)	サッパ 8 (0.2)	サッパ 19 (0.1)	サッパ 4 (<0.1)		サッパ 7 (0.1)
				無脂卵(0.62mm) 5 (<0.1)			無脂卵(0.62mm) 1 (<0.1)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。  
2. 主要種は各調査点での上位5種を示す。

表 1 - 9 稚 仔 魚 調 査 結 果 ( 令 和 7 年 8 月 )

調査年月日：令和7年8月18日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 <sup>注1)</sup>
種類数	5	4	3	3	2	2	5
個体数(個体/1000m <sup>3</sup> )	112	148	20	71	17	16	64
主 要 種 <sup>注2)</sup> 個体数 (%)	カタクチイワシ 51 (45.5)	不明孵化仔魚 73 (49.3)	不明孵化仔魚 11 (55.0)	カタクチイワシ 33 (46.5)	不明孵化仔魚 13 (76.5)	不明孵化仔魚 12 (75.0)	不明孵化仔魚 29 (45.8)
	不明孵化仔魚 36 (32.1)	カタクチイワシ 61 (41.2)	カタクチイワシ 6 (30.0)	不明孵化仔魚 31 (43.7)	カタクチイワシ 4 (23.5)	ナベカ 4 (25.0)	カタクチイワシ 26 (40.4)
	サッパ 19 (17.0)	サッパ 7 (4.7)	ナベカ 3 (15.0)	サッパ 7 (9.9)			サッパ 6 (8.6)
	イソギンポ 4 (3.6)	ナベカ 7 (4.7)					ナベカ 3 (4.2)
	ナベカ 2 (1.8)						イソギンポ 1 (1.0)

注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。  
2. 主要種は各調査点での上位5種を示す。

表1-10 底生生物調査結果 (令和7年8月)

調査期日：令和7年8月18日

項目 \ 調査点	1	3	4	5	6	7	平均 <sup>注1)</sup>
種類数	軟体動物門	1	2				3
	環形動物門	7	3	7	5	1	11
	節足動物門	1				1	2
	その他	1					1
	合計	10	5	7	5	2	0
個体数	軟体動物門	3	2				1
	環形動物門	85	42	139	70	11	58
	節足動物門	1				1	<1
	その他	2					<1
	合計	91	44	139	70	12	0
個体数比 (%)	軟体動物門	3.3	4.5				1.4
	環形動物門	93.4	95.5	100.0	100.0	91.7	97.5
	節足動物門	1.1				8.3	0.6
	その他	2.2					0.6
	合計						
湿重量 (g)	軟体動物門	0.05	0.17				0.04
	環形動物門	0.27	0.16	1.54	0.59	0.04	0.43
	節足動物門	0.03				+	0.01
	その他	0.09					0.02
	合計	0.44	0.33	1.54	0.59	0.04	0.00
主要種 <sup>注2)</sup> 個体数 (%)	パラブリオスピオ属 (A型)	68 (74.7)	30 (68.2)	118 (84.9)	63 (90.0)	11 (91.7)	48 (81.5)
	カタカトリキホシイソメ	5 (5.5)	11 (25.0)	6 (4.3)	3 (4.3)	1 (8.3)	4 (6.2)
	ゴニアダ属	4 (4.4)	1 (2.3)	5 (3.6)	2 (2.9)		2 (3.4)
	シズクガイ	3 (3.3)	1 (2.3)	4 (2.9)	1 (1.4)		1 (2.0)
	シガンブラ属	3 (3.3)	1 (2.3)	3 (2.2)	1 (1.4)		1 (1.4)

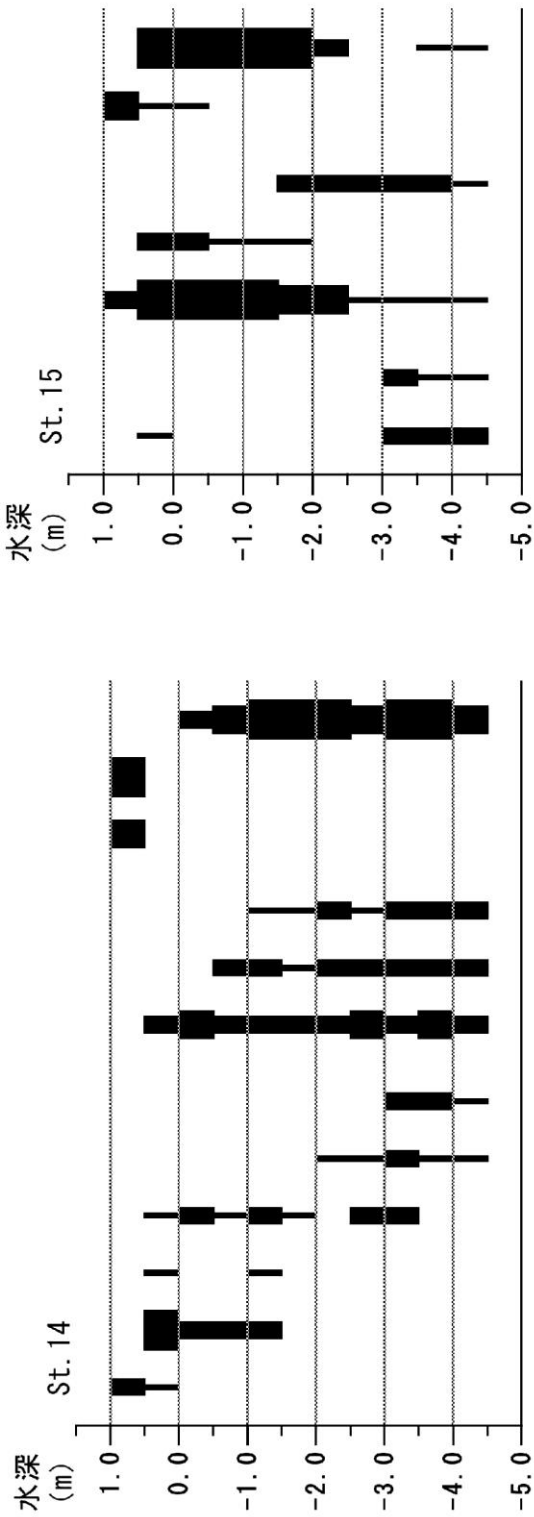
注 1：種類数の平均は総種類数を示す。  
 2：主要種は各調査地点個体数の構成比で上位5種を示す。  
 3：個体数構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。  
 単位：1. 個体数の単位は個体/0.1m<sup>2</sup>、湿重量の単位はg/0.1m<sup>2</sup>。  
 2. 湿重量の+は0.01g未満を示す。

表 1 - 11 ( 1 ) 付着生物観察結果(バルトトランセクト法) (令和 7 年 8 月)

			種名 \ 調査点	8月14日	
				14	15
植 物	被度観察	緑藻植物門	アサ属	r	
			シクサ属	10	r
		褐藻植物門	ホンダワラ属	r	
		紅藻植物門	ウスカワエノテ		1
			マサ		7
			ツノマタ属	2	
			ムカデノリ科	11	4
			イロノカリ科	1	r
			カバノリ	6	1
		イダシ科	5	r	
	藍藻植物門	藍藻綱	3		
	植 物 種 類 数			9	7
	動 物	被度観察	刺胞動物門	ヒトロ虫綱	r
苔虫動物門			フサコケムシ科	r	7
			コケムシ綱	2	1
軟体動物門			オホヒゲガイ	r	4
			イタボガキ科	2	
			キザルカガイ科	r	
環形動物門			カンザシコカイ科	23	28
節足動物門			イワシツボ	2	3
			サンカクシツボ	r	r
			ヨコヒゲ類の泥巢	15	11
原索動物門		シロボヤ	11	3	
		群体性オキコ	1	2	
		単体性オキコ	3	r	
個体数観察		刺胞動物門	タテジマイソギンチャク	2	
			イソギンチャク目	408	2622
		軟体動物門	ウナシ	3	
			レイシガイ		1
			イボニシ	13	14
			裸鰓目		4
			キノハカガイ	1	3
			カラマツガイ	22	
		ナミカシラ	1	1	
		節足動物門	ヤドカリ科	3	
	棘皮動物門	イマキヒトデ		2	
		キヒトデ	2		
		サンショウウオ	6	7	
動 物 種 類 数			23	19	

注：数値は、各調査点で水深+1m～海底までに連続した50×50cmの方形枠（11枠）を設置し、各枠ごとに観察した被度階級（被覆率を階級で表したもの）または個体数の合計を示す。

被度階級
被度：被覆率 (%)
5：76～100
4：51～75
3：26～50
2：10～25
1：1～9
r：極僅か



植物 (被度観察)	動物 (被度観察)	動物 (個体数観察)
藍藻綱 シオグサ属 ツノマタ属 ムカデノリ科 カバノリ イギス科	カンザシゴカイ科 ヨコエビ類の泥巣 シロボヤ	イソギンチャク目 イボニシ カラマツガイ

植物 (被度観察)	動物 (被度観察)	動物 (個体数観察)
マクサ ムカデノリ科	カンザシゴカイ科 フサコケムシ科	ヨコエビ類の泥巣 イボニシ イソギンチャク目

(凡例)

被度階級 : 被覆率 (個体数)

- 1 : 1~9% (1~5個体)
- 2 : 10~25% (6~10個体)
- 3 : 26~50% (11~20個体)
- 4・5 : 51~100% (21個体以上)

調査期日 : 令和7年8月14日

注) 各種ごとの被度階級の合計が、植物は2以上、動物は5以上、または個体数の合計が10以上の種類およびその他特徴的な出現を示す種類について作成した。

図1-2 主な付着生物の鉛直分布 (令和7年8月)

表 1 - 11 ( 2 ) 付着生物調査結果(坪刈り：植物) (令和 7 年 8 月)

調査期日：令和7年8月14日

項目	調査点 層	14				15				平均 <sup>注1)</sup>
		上層	中層	下層	合計	上層	中層	下層	合計	
種類数	緑藻植物門		3	2	3			1	3	4
	褐藻植物門									
	紅藻植物門		2	4	4	1	2	2	5	
	その他	1	1	1	1				1	
	合計	1	6	7	8	4	3	5	10	
湿重量 (g)	緑藻植物門		0.7	0.3	1.0		0.6	+	0.6	0.3
	褐藻植物門									
	紅藻植物門		7.0	4.3	11.3	0.3	1.9	2.2	2.3	
	その他	3.6	+	+	3.6				0.6	
	合計	3.6	7.7	4.6	15.9	0.9	1.9	2.8	3.1	
湿構 成比 (%)	緑藻植物門		9.1	6.5	6.3		66.7	<0.1	21.4	8.6
	褐藻植物門									
	紅藻植物門		90.9	93.5	71.1		33.3	100.0	78.6	72.2
	その他	100.0	<0.1	<0.1	22.6					19.3
	主要種 <sup>注2)</sup> 湿重量g (%)	藍藻綱 3.6 (100.0)	ムカデノリ属 7.0 (90.9) シオグサ属 0.6 (7.8) アオノリ属 0.1 (1.3)	ムカデノリ属 4.2 (91.3) シオグサ属 0.3 (6.5) テングサ科 0.1 (2.2)	ムカデノリ属 11.2 (70.4) 藍藻綱 3.6 (22.6) シオグサ属 0.9 (5.7) アオノリ属 0.1 (0.6) テングサ科 0.1 (0.6)	シオグサ属 0.6 (66.7) ムカデノリ属 0.3 (33.3)	ムカデノリ属 1.9 (100.0)	ムカデノリ属 2.2 (78.6) シオグサ属 0.6 (21.4)	ムカデノリ属 2.2 (71.7) 藍藻綱 0.6 (19.3) シオグサ属 0.3 (8.0)	

※各採集層：上層平均水面、中層大潮最低低潮面、下層大潮最低低潮面 1 m

- 注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。  
 2. 主要種は各調査点の各層で上位5種を示す。但し、湿重量0.1g未満の種類は除く。  
 3. 湿重量構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。  
 単位：1. 湿重量は0.09㎡当たりで示す。湿重量欄の + は0.1g未満を示す。  
 2. 各調査点の合計欄は0.27㎡当たりで示す。

表 1 - 11 ( 3 ) 付着生物調査結果(坪刈り：動物) (令和 7 年 8 月)

調査期日：令和7年8月14日

項目	調査点 層	14				15				平均 <sup>注1)</sup>
		上層	中層	下層	合計	上層	中層	下層	合計	
種類数	軟体動物門	8	9	10	16	11	6	6	15	20
	環形動物門	4	7	18	20	14	18	16	24	26
	節足動物門	2	5	7	13	5	11	10	16	23
	その他	1	2	7	7	3	10	10	12	14
	合計	15	23	42	56	33	45	42	67	83
個体数	軟体動物門	47	176	4,897	5,120	304	291	350	945	1,011
	環形動物門	18	79	1,505	1,602	2,591	3,775	3,683	10,049	1,942
	節足動物門	150	32	112	294	36	159	120	315	102
	その他	3	2	106	111	35	36	469	540	109
	合計	218	289	6,620	7,127	2,966	4,261	4,622	11,849	3,163
個体構成比	軟体動物門	21.6	60.9	74.0	71.8	10.2	6.8	7.6	8.0	32.0
	環形動物門	8.3	27.3	22.7	22.5	87.4	88.6	79.7	84.8	61.4
	節足動物門	68.8	11.1	1.7	4.1	1.2	3.7	2.6	2.7	3.2
(%)	その他	1.4	0.7	1.6	1.6	1.2	0.8	10.1	4.6	3.4
主要種 <sup>注2)</sup> 個体数 (%)	モクス'ヨコヒ'科	ウスカラシオウガイ	ウスカラシオウガイ	ウスカラシオウガイ	ウスカラシオウガイ	ナゲ'シコカサ'シコ'ガイ	ナゲ'シコカサ'シコ'ガイ	ナゲ'シコカサ'シコ'ガイ	ナゲ'シコカサ'シコ'ガイ	ナゲ'シコカサ'シコ'ガイ
	136 (62.4)	104 (36.0)	4,752 (71.8)	4,865 (68.3)	2,048 (69.0)	2,956 (69.4)	1,656 (35.8)	6,660 (56.2)	1,200 (37.9)	
	コレヒ'コカ'モガイ	コロンカワヒバ'リガイ	ナゲ'シコカサ'シコ'ガイ	ナゲ'シコカサ'シコ'ガイ	エゾ'ナシ'シコ'ガイ	エゾ'ナシ'シコ'ガイ	エゾ'ナシ'シコ'ガイ	エゾ'ナシ'シコ'ガイ	ウスカラシオウガイ	
	18 (8.3)	44 (15.2)	502 (7.6)	538 (7.5)	496 (16.7)	580 (13.6)	1,208 (26.1)	2,284 (19.3)	952 (30.1)	
	シリケンウミミ属	ナゲ'シコカサ'シコ'ガイ	エゾ'ナシ'シコ'ガイ	エゾ'ナシ'シコ'ガイ	ウスカラシオウガイ	ウスカラシオウガイ	イギ'ン'シコ'目	ウスカラシオウガイ	エゾ'ナシ'シコ'ガイ	
	14 (6.4)	36 (12.5)	299 (4.5)	323 (4.5)	233 (7.9)	278 (6.5)	368 (8.0)	847 (7.1)	435 (13.7)	
	デンカ'コガイ	ヒガ'ナガ'ヨコヒ'属	ボリ'ドラ'属	ボリ'ドラ'属	シオナリ'属	マエ'ラ'カ'属	ウスカラシオウガイ	イギ'ン'シコ'目	ボリ'ドラ'属	
	11 (5.0)	27 (9.3)	257 (3.9)	263 (3.7)	27 (0.9)	74 (1.7)	336 (7.3)	386 (3.3)	85 (2.7)	
	ウスカラシオウガイ	エゾ'ナシ'シコ'ガイ	ケヤリムシ科	ケヤリムシ科	シケウ'シ'属	ケヤリムシ科	ケヤリムシ科	ケヤリムシ科	ケヤリムシ科	
	9 (4.1)	24 (8.3)	169 (2.6)	172 (2.4)	27 (0.9)	53 (1.2)	264 (5.7)	335 (2.8)	85 (2.7)	

※各採集層：上層--平均水面、中層--大潮最低低潮面、下層--大潮最低低潮面 - 1 m

- 注：1. 種類数の平均は総種類数を示す。  
 2. 主要種は各調査点の各層で上位5種を示す。  
 3. 個体数構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。  
 単位：1. 個体数は0.09㎡当たりで示す。  
 2. 各調査点の合計欄は0.27㎡当たりで示す。

表 1 - 11 ( 4 ) 付着生物調査結果(坪刈り：動物(湿重量)) (令和 7 年 8 月)

調査期日：令和7年8月14日

項目	調査点 層	14				15				平均 <sup>注1)</sup>
		上層	中層	下層	合計	上層	中層	下層	合計	
湿重量 (g)	軟体動物門	3.3	4.1	73.9	81.3	15.9	9.4	9.2	34.5	19.3
	環形動物門	0.1	0.2	10.4	10.7	12.6	31.2	35.8	79.6	15.1
	節足動物門	0.4	0.1	0.2	0.7	0.1	1.4	1.1	2.6	0.6
	その他	+	+	3.7	3.7	0.1	12.0	19.4	31.5	5.9
	合計	3.8	4.4	88.2	96.4	28.7	54.0	65.5	148.2	40.8
湿重量構成比	軟体動物門	86.8	93.2	83.8	84.3	55.4	17.4	14.0	23.3	47.3
	環形動物門	2.6	4.5	11.8	11.1	43.9	57.8	54.7	53.7	36.9
	節足動物門	10.5	2.3	0.2	0.7	0.3	2.6	1.7	1.8	1.3
(%)	その他	<0.1	<0.1	4.2	3.8	0.3	22.2	29.6	21.3	14.4
主要種 <sup>注2)</sup> 湿重量g (%)	イボニシ	ウスカラシオウガイ	ウスカラシオウガイ	ウスカラシオウガイ	ウスカラシオウガイ	イボニシ	ナゲ'シコカサ'シコ'ガイ	ナゲ'シコカサ'シコ'ガイ	ナゲ'シコカサ'シコ'ガイ	ウスカラシオウガイ
	2.6 (68.4)	1.3 (29.5)	58.2 (66.0)	59.5 (61.7)	14.4 (50.2)	23.7 (43.9)	14.8 (22.6)	49.0 (33.1)	13.0 (31.9)	
	コレヒ'コカ'モガイ	イボニシ	オオヘビガイ	オオヘビガイ	ナゲ'シコカサ'シコ'ガイ	ウスカラシオウガイ	エゾ'ナシ'シコ'ガイ	エゾ'ナシ'シコ'ガイ	ナゲ'シコカサ'シコ'ガイ	
	0.4 (10.5)	0.7 (15.9)	13.5 (15.3)	13.5 (14.0)	10.5 (36.6)	8.8 (16.3)	12.2 (18.6)	19.6 (13.2)	9.0 (22.0)	
	モクス'ヨコヒ'科	コロンカワヒバ'リガイ	ナゲ'シコカサ'シコ'ガイ	ナゲ'シコカサ'シコ'ガイ	エゾ'ナシ'シコ'ガイ	エゾ'ナシ'シコ'ガイ	ウスカラシオウガイ	ウスカラシオウガイ	エゾ'ナシ'シコ'ガイ	
	0.4 (10.5)	0.7 (15.9)	4.7 (5.3)	4.8 (5.0)	2.0 (7.0)	5.4 (10.0)	9.0 (13.7)	18.5 (12.5)	3.6 (8.8)	
	ウノアシ	ホトキ'スガイ	シロボヤ	イボニシ	ウスカラシオウガイ	シロボヤ科(群体性)	イギ'ン'シコ'目	イボニシ	イボニシ	
	0.2 (5.3)	0.6 (13.6)	2.8 (3.2)	3.3 (3.4)	0.7 (2.4)	4.6 (8.5)	6.2 (9.5)	14.4 (9.7)	3.0 (7.2)	
	タイス属	イタボガキ科	エゾ'ナシ'シコ'ガイ	シロボヤ	ケハ'ヒギ'ラ'イ属	アチカ'ムシ科	ケヤリムシ科	シロボヤ科(群体性)	オオヘビガイ	
	0.1 (2.6)	0.5 (11.4)	1.9 (2.2)	2.8 (2.9)	0.4 (1.4)	3.1 (5.7)	5.9 (9.0)	7.2 (4.9)	2.3 (5.5)	
デンカ'コガイ										
0.1 (2.6)										

※各採集層：上層--平均水面、中層--大潮最低低潮面、下層--大潮最低低潮面 - 1 m

- 注：1. 湿重量欄の平均は平均湿重量を示す。  
 2. 主要種は各調査点の各層で上位5種を示す。但し、湿重量0.1g未満の種類は除く。  
 3. 湿重量構成比は小数点2位を四捨五入しているため、合計が100.0にならない場合がある。  
 単位：1. 湿重量は0.09㎡当たりで示す。湿重量欄の+は0.1g未満を示す。  
 2. 各調査点の合計欄は0.27㎡当たりで示す。

表 1 - 12 ( 1 ) 漁業生物調査結果(刺網) (令和 7 年 8 月)

調査年月日：令和7年8月18～19日

項目 \ 調査点	16	17	平均	
種類数	魚類	9	3	10
	甲殻類	2	2	2
	頭足類			
	その他	1	1	2
	合計	12	6	14
個体数	魚類	234	49	142
	甲殻類	23	3	13
	頭足類			
	その他	4	1	3
	合計	261	53	157
湿重量 (g)	魚類	26,393.0	22,816.7	24,604.9
	甲殻類	2,237.3	395.8	1,316.6
	頭足類			
	その他	15.8	28.9	22.4
	合計	28,646.1	23,241.4	25,943.8

注：1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。

2. 種類数の平均欄は総種類数を示す。

表 1 - 12 ( 2 ) 漁業生物調査結果(刺網) (令和 7 年 8 月)

調査年月日：令和7年8月18～19日

項目 \ 調査点	16	17	平均			
主要種	個体数 (組成比%)	魚類	マサバ 136 ( 52.1 )	クロダイ 42 ( 79.2 )	マサバ 68 ( 43.3 )	
			カタクチイワシ 81 ( 31.0 )	アカエイ 6 ( 11.3 )	カタクチイワシ 41 ( 25.8 )	
			アカエイ 5 ( 1.9 )	マアジ 1 ( 1.9 )	クロダイ 21 ( 13.4 )	
		ツバクロエイ 4 ( 1.5 )		アカエイ 6 ( 3.5 )		
		ヒイラギ 3 ( 1.1 )		ツバクロエイ 2 ( 1.3 )		
		甲殻類	イシガニ 12 ( 4.6 )	タイワンガザミ 2 ( 3.8 )	タイワンガザミ 7 ( 4.1 )	
			タイワンガザミ 11 ( 4.2 )	イシガニ 1 ( 1.9 )	イシガニ 7 ( 4.1 )	
			その他 4 ( 1.5 )	トゲモミジガイ 1 ( 1.9 )	キヒトデ 2 ( 1.3 )	
		その他			トゲモミジガイ 1 ( 0.3 )	
	湿重量 (組成比%)		魚類	アカエイ 16,795.4 ( 58.6 )	クロダイ 18,124.0 ( 78.0 )	アカエイ 10,718.3 ( 41.3 )
				マサバ 5,501.7 ( 19.2 )	アカエイ 4,641.1 ( 20.0 )	クロダイ 9,062.0 ( 34.9 )
		ツバクロエイ 2,407.8 ( 8.4 )		マアジ 51.6 ( 0.2 )	マサバ 2,750.9 ( 10.6 )	
ボラ 1,147.8 ( 4.0 )			ツバクロエイ 1,203.9 ( 4.6 )			
カタクチイワシ 343.6 ( 1.2 )			ボラ 573.9 ( 2.2 )			
甲殻類		タイワンガザミ 1,658.4 ( 5.8 )	タイワンガザミ 341.8 ( 1.5 )	タイワンガザミ 1,000.1 ( 3.9 )		
	イシガニ 578.9 ( 2.0 )	イシガニ 54.0 ( 0.2 )	イシガニ 316.5 ( 1.2 )			
	その他 15.8 ( 0.1 )	トゲモミジガイ 28.9 ( 0.1 )	トゲモミジガイ 14.5 ( 0.1 )			
その他			キヒトデ 7.9 ( <0.1 )			

注：1. 個体数、湿重量は1網当たりで示す。

2. 主要種は各調査点の各分類群で上位5種のものを示す。

3. 個体数の平均値は小数点以下を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。



# 陸域調査結果



表 1 - 13 悪臭調査結果

(泉大津基地)

測定日：令和7年8月21日

測定点		D 1 (風上)	D 2 (風下)
測定時間		16:15	16:35
気象	天候(当日/前日)	晴/晴	晴/晴
	気温	29.8℃	32.2℃
	湿度	81%	65%
	風向	西南西	西南西
	風速	2.4m/s	2.9m/s
官能試験	臭気濃度	<10	<10
	臭気指数	<10	<10
	臭気強度	0	0
	臭質	無臭	無臭

注：1. 臭気濃度：人の嗅覚でその臭気を感じできなくなった時点の希釈倍数

2. 臭気指数：臭気指数=10×log(臭気濃度)

3. 官能試験時に求められた臭気強度である。

4. 臭気強度：0(無臭)～5(強烈な臭い)の6段階に区分

表 1-14 悪臭物質調査結果

(泉大津基地)

測定日：令和7年8月21日

項目	調査地点	E		報告 下限値	規制 基準値
	調査時刻	15:13 ~ 15:50			
	天候(当日/前日)	晴/晴			
	風向	西南西			
	風速	3.4m/s			
	気温	35.2℃			
	湿度	57%			
アンモニア	(ppm)	0.1	未満	0.1	1
メチルメルカプタン	(ppm)	0.0005	未満	0.0005	0.002
硫化水素	(ppm)	0.001	未満	0.001	0.02
硫化メチル	(ppm)	0.001	未満	0.001	0.01
二硫化メチル	(ppm)	0.001	未満	0.001	0.009
トリメチルアミン	(ppm)	0.001	未満	0.001	0.005
アセトアルデヒド	(ppm)	0.005	未満	0.005	0.05
プロピオンアルデヒド	(ppm)	0.005	未満	0.005	0.05
ノルマルブチルアルデヒド	(ppm)	0.0009	未満	0.0009	0.009
イソブチルアルデヒド	(ppm)	0.002	未満	0.002	0.02
ノルマルバレールアルデヒド	(ppm)	0.0009	未満	0.0009	0.009
イソバレールアルデヒド	(ppm)	0.0003	未満	0.0003	0.003
イソブタノール	(ppm)	0.09	未満	0.09	0.9
酢酸エチル	(ppm)	0.3	未満	0.3	3
メチルイソブチルケトン	(ppm)	0.1	未満	0.1	1
トルエン	(ppm)	1	未満	1	10
スチレン	(ppm)	0.04	未満	0.04	0.4
キシレン	(ppm)	0.1	未満	0.1	1
プロピオン酸	(ppm)	0.0004	未満	0.0004	0.03
ノルマル酪酸	(ppm)	0.0004	未満	0.0004	0.001
ノルマル吉草酸	(ppm)	0.0004	未満	0.0004	0.0009
イソ吉草酸	(ppm)	0.0004	未満	0.0004	0.001

表 1 - 15 発生ガス調査結果

(泉大津基地)

項 目	調 査 地 点	F - 1	F - 2
	測 定 日	令和7年8月21日	
	調 査 時 刻	13:45	14:45
	天 候	晴	晴
	風向(16方位)	南南西	西南西
	風速(m/s)	2.7	2.5
	気温(°C)	31.9	33.6
	湿度(%)	62	60
	地中温度(°C)	30.3	34.9
	流量 (cm <sup>3</sup> /分)	<10	<10
メタン (ppm)	発生ガス	148	6.7
	大気環境	5.3	4.6



# 大 阪 基 地



## II 大阪基地

### 1 環境監視結果の概要

#### 1.1 環境監視の実施状況

環境監視計画に基づく令和7年8月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

なお、調査地点位置については図2-1に示す。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	調査内容	実施日時
交通量	総交通量(2車種分類 <sup>注</sup> )	No.1 No.2	3地点	10時間 (毎正時10分間)	8月1日 8時～18時
	廃棄物車数(2車種分類 <sup>注</sup> )	No.4		10時間 (連続)	
大気質	二酸化硫黄、 一酸化窒素、 二酸化窒素、 浮遊粒子状物質、 風向・風速	No.2 No.3	2地点	1週間 (連続)	8月1日 0時30分～ 8月8日 0時30分
悪臭	臭気強度、 臭気指数、 臭気濃度	No.5 No.6	2地点	年2回	8月1日

注：2車種分類とは、総交通量、廃棄物車とも大型車と大型車以外の2種とする。

#### 1.2 環境監視の結果

交通量及び大気質の監視結果については、総括を表2-1に、各測定・調査項目ごとの結果を表2-2～表2-9及び図2-2～図2-6に示す。

##### (1) 交通量 (表2-1、表2-2)

###### ア) 大阪池田線沿道の測定点 (No.1)

時間交通量は1,051～1,356台、廃棄物車の時間交通量は0～3台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は11台/10hrで、総交通量(12,509台/10hr)に占める割合は0.1%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

###### イ) 大阪池田線沿道の測定点 (No.2)

時間交通量は913～1,485台、廃棄物車の時間交通量は0～3台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は10台/10hrで、総交通量(12,214台/10hr)に占める割合は0.1%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

#### ウ) 大阪基地近傍の測定点 (No. 4)

時間交通量は129～216台、廃棄物車の時間交通量は0～78台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は367台/10hrで、総交通量(1,639台/10hr)に占める割合は22.4%であった。

### (2) 大気質 (表2-1、表2-3～表2-9)

#### 7) 大阪池田線沿道の測定点 (No. 2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西であり、平均風速は2.7m/sであった。

#### イ) 中島公園近傍の測定点 (No. 3)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西南西であり、平均風速は3.0m/sであった。

### (3) 悪臭 (表2-10)

悪臭の調査結果を表2-10に示す。

臭気濃度及び臭気指数はNo. 5 (風上)、No. 6 (風下) とともに<10であった。また、臭気強度は両地点ともに0で臭質は無臭であった。

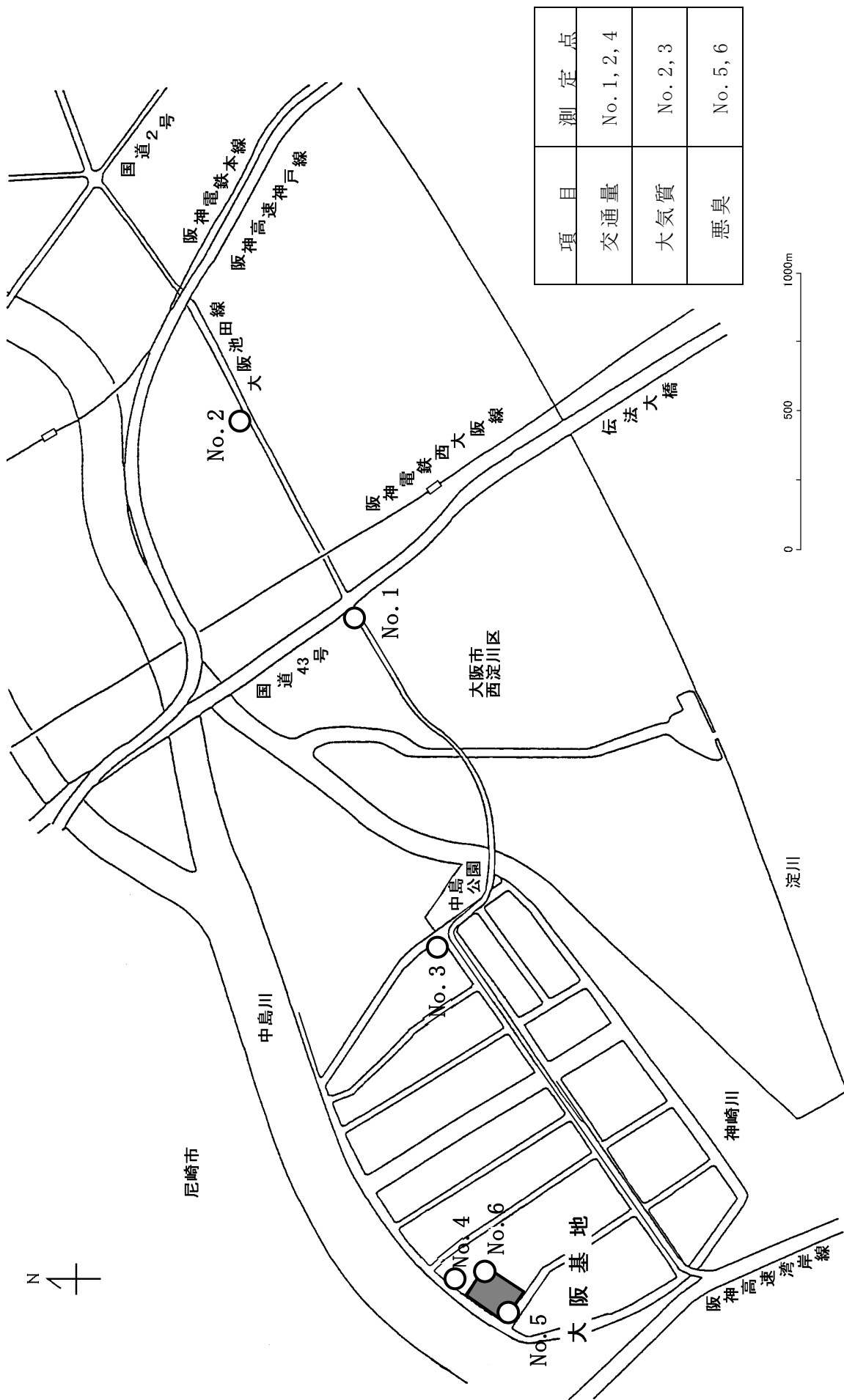


図 2-1 環境監視調査地点位置図(大阪基地)

## 2 環境監視結果

表 2-1 監視結果総括

(大阪基地 令和7年8月調査結果)

測 定 点				No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	
交通量 (8:00～ 18:00)	調 査 日			8月1日	8月1日	—	8月1日	
	総交通量	最大時間交通量	(台)	1,356	1,485	—	216	
		最小時間交通量		1,051	913	—	129	
		総交通量		12,509	12,214	—	1,639	
	廃棄物 車 数	最大時間交通量	(台)	3	3	—	78	
		最小時間交通量		0	0	—	0	
		総交通量		11	10	—	367	
	廃棄物車混入率(平均)			(%)	0.1	0.1	—	22.4
	騒音・振動 (8:00～ 18:00)	調 査 日			—	—	—	—
		騒音 ( $L_{Aeq}$ )	一 時 間 値	(dB)	—	—	—	—
時 間 平 均 値			—		—	—	—	
騒音 ( $L_{A50}$ )		一 時 間 値	—		—	—	—	
		時 間 平 均 値	—		—	—	—	
振動 ( $L_{10}$ )		一 時 間 値	—		—	—	—	
		時 間 平 均 値	—		—	—	—	
大 気 質		調 査 日			—	8月1日～7日	8月1日～7日	—
	二酸化 硫 黄	日平均値		(ppm)	—	0.004～0.007	0.003～0.005	—
		期間平均値			—	0.006	0.004	—
		日平均値が0.04ppmを超えた日数		(日)	—	0	0	—
		1時間値が0.1ppmを超えた時間数		(時間)	—	0	0	—
	二酸化 窒 素	日平均値		(ppm)	—	0.003～0.008	0.003～0.011	—
		期間平均値			—	0.006	0.008	—
		日平均値が0.04ppm以上、0.06ppm以下の日数		(日)	—	0	0	—
		日平均値が0.06ppmを超えた日数		(日)	—	0	0	—
	浮遊粒子 状 物 質	日平均値		(mg/m <sup>3</sup> )	—	0.016～0.032	0.018～0.042	—
		期間平均値			—	0.021	0.026	—
		日平均値が0.1mg/m <sup>3</sup> を超えた日数		(日)	—	0	0	—
		1時間値が0.2mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数		(時間)	—	0	0	—
	風 速	日平均値		(m/s)	—	2.3～3.2	2.6～3.3	—
		期間平均値			—	2.7	3.0	—
	風 向	最多風向		16方位	—	W	WSW	—

表 2 - 2 交通量調査結果

(大阪基地 令和7年8月結果)

測定点	測定年月日	測定時刻	交通条件							騒音レベル (dB)				振動レベル (dB)			主な騒音源	
			総交通量 注1				廃棄物車数 (台)		廃棄物車混入率 (%)		L <sub>A5</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Aeq</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>		L <sub>90</sub>
			大型車 (台)	大型車以外 (台)	合計 (台)	大型車混入率 (%)	全車両	大型車以外	廃棄物車/全車両	注2								
No.1	令和7年8月1日	8:00	576	726	1,302	44.2	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		9:00	673	540	1,213	55.5	1	0	0.1	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-
		10:00	679	372	1,051	64.6	1	0	0.1	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-
		11:00	711	594	1,305	54.5	3	0	0.2	0.4	-	-	-	-	-	-	-	-
		12:00	662	642	1,304	50.8	2	0	0.2	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-
		13:00	627	588	1,215	51.6	3	0	0.2	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
		14:00	649	510	1,159	56.0	1	0	0.1	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-
		15:00	540	714	1,254	43.1	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		16:00	612	738	1,350	45.3	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		17:00	426	930	1,356	31.4	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	6,155	6,354	12,509	-	11	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	平均	616	635	1,251	49.2	1.1	0	0.1	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.2	令和7年8月1日	8:00	312	696	1,008	31.0	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		9:00	462	780	1,242	37.2	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		10:00	470	708	1,178	39.9	2	0	0.2	0.4	-	-	-	-	-	-	-	-
		11:00	403	738	1,141	35.3	1	0	0.1	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-
		12:00	313	600	913	34.3	1	0	0.1	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-
		13:00	381	1,104	1,485	25.7	3	0	0.2	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-
		14:00	415	858	1,273	32.6	1	0	0.1	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-
		15:00	386	984	1,370	28.2	2	0	0.1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
		16:00	324	924	1,248	26.0	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		17:00	276	1,080	1,356	20.4	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	3,742	8,472	12,214	-	10	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	平均	374	847	1,221	30.6	1.0	0	0.1	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3	令和7年8月1日	8:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		9:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		10:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		11:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		12:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		13:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		14:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		15:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		16:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		17:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.4	令和7年8月1日	8:00	43	144	187	23.0	7	0	3.7	16.3	-	-	-	-	-	-	-	-
		9:00	138	60	198	69.7	78	0	39.4	56.5	-	-	-	-	-	-	-	-
		10:00	85	44	129	65.9	57	2	44.2	64.7	-	-	-	-	-	-	-	-
		11:00	117	54	171	68.4	75	0	43.9	64.1	-	-	-	-	-	-	-	-
		12:00	72	85	157	45.9	43	1	27.4	58.3	-	-	-	-	-	-	-	-
		13:00	78	67	145	53.8	43	1	29.7	53.8	-	-	-	-	-	-	-	-
		14:00	63	80	143	44.1	41	2	28.7	61.9	-	-	-	-	-	-	-	-
		15:00	47	108	155	30.3	23	0	14.8	48.9	-	-	-	-	-	-	-	-
		16:00	60	78	138	43.5	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		17:00	12	204	216	5.6	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	715	924	1,639	-	367	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	平均	72	92	164	43.6	36.7	0.6	22.4	50.5	-	-	-	-	-	-	-	-	

注：1. 総交通量は1時間値に補正したもの（一般車：10分間値×6＋廃棄物車：1時間値）を示し、廃棄物車数は1時間の全交通量を示す。  
 2. 総交通量（大型車）に占める廃棄物車（大型車）の混入率を示す。

## 大気質調査結果

表 2 - 3 二酸化硫黄測定結果 (令和 7 年 8 月 1 日～ 8 月 7 日)

(大阪基地 令和7年8月調査結果)

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	8月1日 (金)	0.007	0.010	0.004	0.009
	8月2日 (土)	0.005	0.007	0.004	0.005
	8月3日 (日)	0.005	0.007	0.004	0.006
	8月4日 (月)	0.006	0.008	0.005	0.006
	8月5日 (火)	0.005	0.006	0.003	0.003
	8月6日 (水)	0.006	0.007	0.003	0.004
	8月7日 (木)	0.004	0.005	0.003	0.005
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.006		0.004	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.007		0.005	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.010		0.009	
1 時 間 値 が 0.1ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数 (日)		0		0	

表 2 - 4 二酸化窒素測定結果 (令和 7 年 8 月 1 日～ 8 月 7 日)

(大阪基地 令和7年8月調査結果)

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	8月1日 (金)	0.007	0.012	0.011	0.022
	8月2日 (土)	0.003	0.004	0.003	0.006
	8月3日 (日)	0.004	0.005	0.003	0.006
	8月4日 (月)	0.007	0.012	0.008	0.013
	8月5日 (火)	0.006	0.007	0.007	0.012
	8月6日 (水)	0.008	0.010	0.011	0.017
	8月7日 (木)	0.008	0.012	0.011	0.017
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.006		0.008	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.008		0.011	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.012		0.022	
1 時 間 値 が 0.2ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0		0	
1 時 間 値 が 0.1ppm 以 上 、 0.2ppm 以 下 の 時 間 数 (時間)		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以 上 、 0.06ppm 以 下 の 日 数 (日)		0		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数 (日)		0		0	

表2-5 一酸化窒素測定結果 (令和7年8月1日～8月7日)

(大阪基地 令和7年8月調査結果)

測 定 点		No. 2		No. 3	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値(ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値(ppm)
日 別 値	8月1日 (金)	0.003	0.008	0.003	0.014
	8月2日 (土)	0.001	0.002	0.000	0.000
	8月3日 (日)	0.001	0.002	0.000	0.000
	8月4日 (月)	0.003	0.006	0.001	0.001
	8月5日 (火)	0.004	0.010	0.002	0.008
	8月6日 (水)	0.004	0.009	0.002	0.014
	8月7日 (木)	0.004	0.010	0.002	0.009
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (ppm)		0.003		0.001	
日平均値の最高値 (ppm)		0.004		0.003	
1時間値の最高値 (ppm)		0.010		0.014	

表2-6 窒素酸化物(NO+NO<sub>2</sub>)測定結果 (令和7年8月1日～8月7日)

(大阪基地 令和7年8月調査結果)

測 定 点		No. 2			No. 3		
項 目		日平均値		1時間値の 最高値(ppm)	日平均値		1時間値の 最高値(ppm)
		(ppm)	NO <sub>2</sub> /NO <sub>x</sub> (%)		(ppm)	NO <sub>2</sub> /NO <sub>x</sub> (%)	
日 別 値	8月1日 (金)	0.010	71.7	0.020	0.013	80.3	0.033
	8月2日 (土)	0.004	65.3	0.006	0.003	100.0	0.006
	8月3日 (日)	0.005	72.5	0.007	0.003	100.0	0.006
	8月4日 (月)	0.010	69.0	0.016	0.009	91.9	0.014
	8月5日 (火)	0.010	59.7	0.017	0.009	79.3	0.019
	8月6日 (水)	0.012	66.1	0.018	0.013	82.7	0.029
	8月7日 (木)	0.012	66.8	0.021	0.013	84.0	0.023
有効測定日数 (日)		7			7		
測定時間 (時間)		168			168		
期間平均値 (ppm)		0.009			0.009		
日平均値の最高値 (ppm)		0.012			0.013		
1時間値の最高値 (ppm)		0.021			0.033		
NO <sub>2</sub> /(NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		67.0			85.1		

表 2-7 浮遊粒子状物質測定結果 (令和7年8月1日～8月7日)

(大阪基地 令和7年8月調査結果)

測定点		No. 2		No. 3	
項目		日平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の 最高値(mg/m <sup>3</sup> )	日平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の 最高値(mg/m <sup>3</sup> )
日 別 値	8月1日 (金)	0.020	0.038	0.022	0.046
	8月2日 (土)	0.016	0.028	0.018	0.030
	8月3日 (日)	0.018	0.032	0.021	0.044
	8月4日 (月)	0.032	0.043	0.042	0.062
	8月5日 (火)	0.016	0.047	0.020	0.042
	8月6日 (水)	0.026	0.054	0.035	0.080
	8月7日 (木)	0.019	0.045	0.024	0.055
有効測定日数 (日)		7		7	
測定時間 (時間)		168		168	
期間平均値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.021		0.026	
日平均値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.032		0.042	
1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.054		0.080	
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数 (時間)		0		0	
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 (日)		0		0	

表 2-8 風向・風速測定結果 (令和7年8月1日～8月7日)

(大阪基地 令和7年8月調査結果)

測定点		No. 2				No. 3				天候
項目		風速			最多 風向 (16方 位)	風速			最多 風向 (16方 位)	
		平均 風速 (m/s)	最大風速			平均 風速 (m/s)	最大風速			
			風速 (m/s)	風向 (16方位)			風速 (m/s)	風向 (16方位)		
日 別 値	8月1日 (金)	2.5	4.0	WSW	WSW	2.8	4.6	NE	SW	晴一時曇
	8月2日 (土)	2.6	4.4	N	N	2.9	5.2	N	N	晴一時曇
	8月3日 (日)	2.3	4.2	WSW	WSW	2.6	4.7	WSW	W	晴一時曇
	8月4日 (月)	2.9	5.1	W	W	3.3	5.8	W	W	薄曇後晴
	8月5日 (火)	3.2	5.2	W	W	3.3	6.2	W	W	晴一時薄曇
	8月6日 (水)	2.9	4.2	W, WSW	W	3.0	5.2	WSW	WSW	晴後一時薄曇
	8月7日 (木)	2.8	4.3	WSW	WSW	3.0	5.1	WSW	WSW	曇一時雨
有効測定日数 (日)		7			7	7			7	
測定時間 (時間)		168			168	168			168	
期間平均風速 (m/s)		2.7			—	3.0			—	
期間最大風速 (m/s)		5.2			—	6.2			—	
期間最多風向 (16方位)		—			W	—			WSW	

注：1. 最多風向は、気象庁の気象観測統計指針に基づいて求めた。

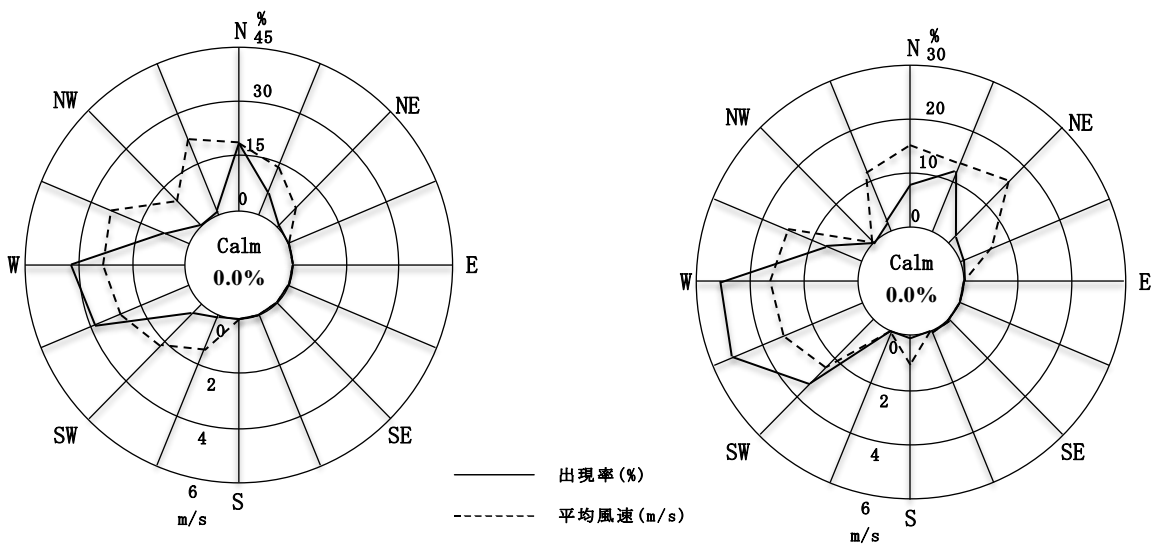
：2. 表中の天候は、大阪管区気象台の観測結果（昼：6:00～18:00）から引用した。

表 2-9 風向別出現頻度及び風向別平均風速 (令和7年8月1日～8月7日)

(大阪基地 令和7年8月調査結果)

測定点		No.2			No.3		
項目		出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)
風向	N	31	18.5	2.5	13	7.7	3.0
	NNE	11	6.5	1.9	20	11.9	2.7
	NE	1	0.6	1.0	3	1.8	3.2
	ENE	—	—	—	1	0.6	1.3
	E	—	—	—	—	—	—
	ESE	—	—	—	—	—	—
	SE	—	—	—	—	—	—
	SSE	—	—	—	—	—	—
	S	—	—	—	1	0.6	1.1
	SSW	1	0.6	1.4	—	—	—
	SW	6	3.6	2.2	28	16.7	2.5
	WSW	48	28.6	2.8	44	26.2	3.2
	W	54	32.1	3.1	43	25.6	3.3
	WNW	13	7.7	3.2	12	7.1	3.0
	NW	1	0.6	1.3	—	—	—
NNW	2	1.2	3.0	3	1.8	2.3	
calm		—	—	—	—	—	—
total		168	100.0	2.7	168	100.0	3.0

注：calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

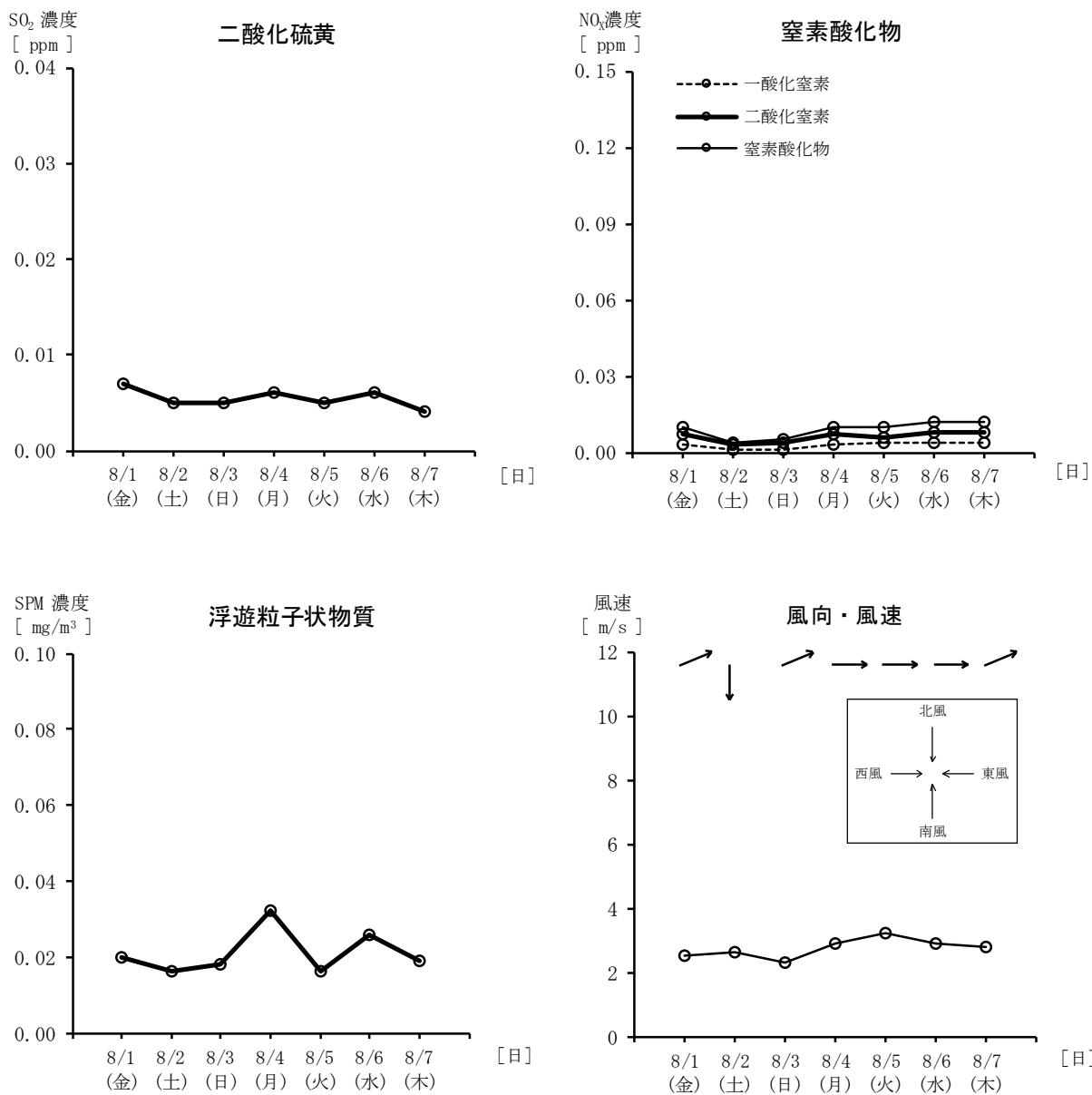


注：calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

測定点 No. 2

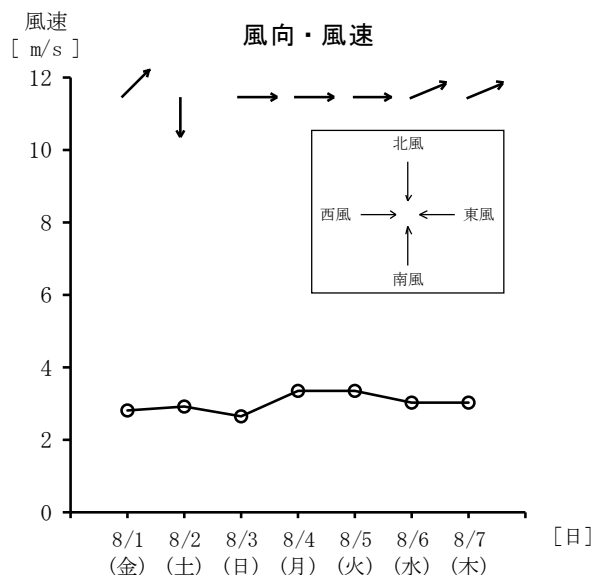
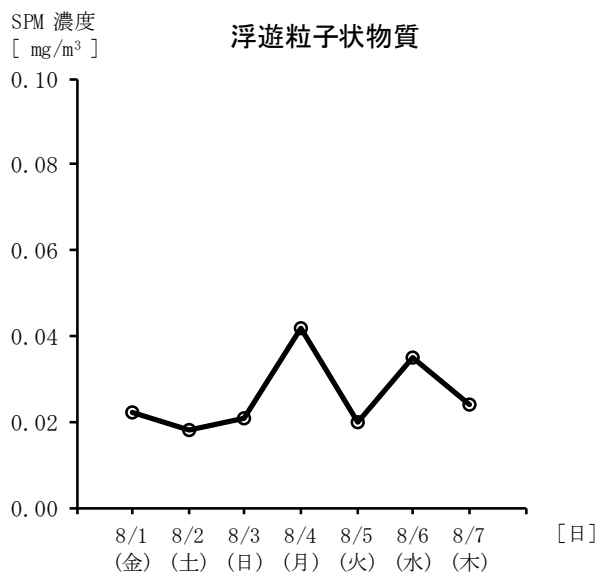
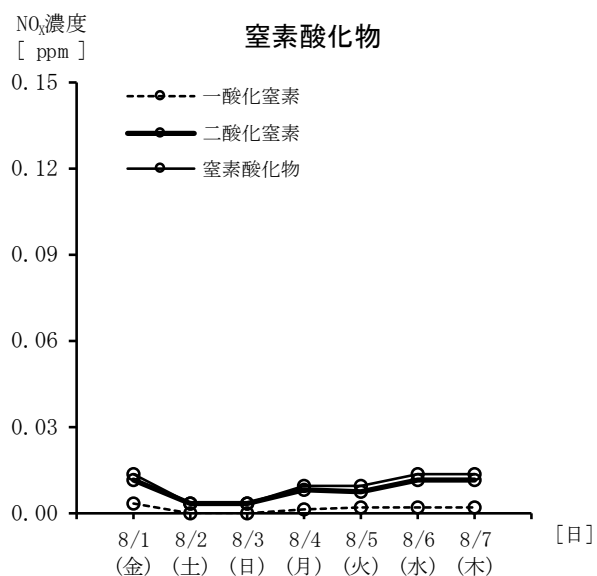
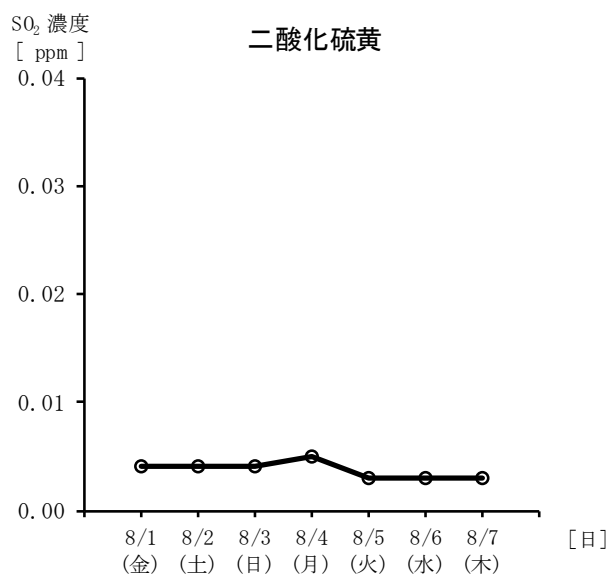
測定点 No. 3

図 2-2 風配図と風向別平均風速 (令和7年8月1日～8月7日)



測定点 No. 2

図 2-3 大気質・気象日平均値変化図 (令和 7 年 8 月 1 日～8 月 7 日)



測定点 No. 3

図 2 - 4 大気質・気象日平均値変化図 (令和 7 年 8 月 1 日～8 月 7 日)

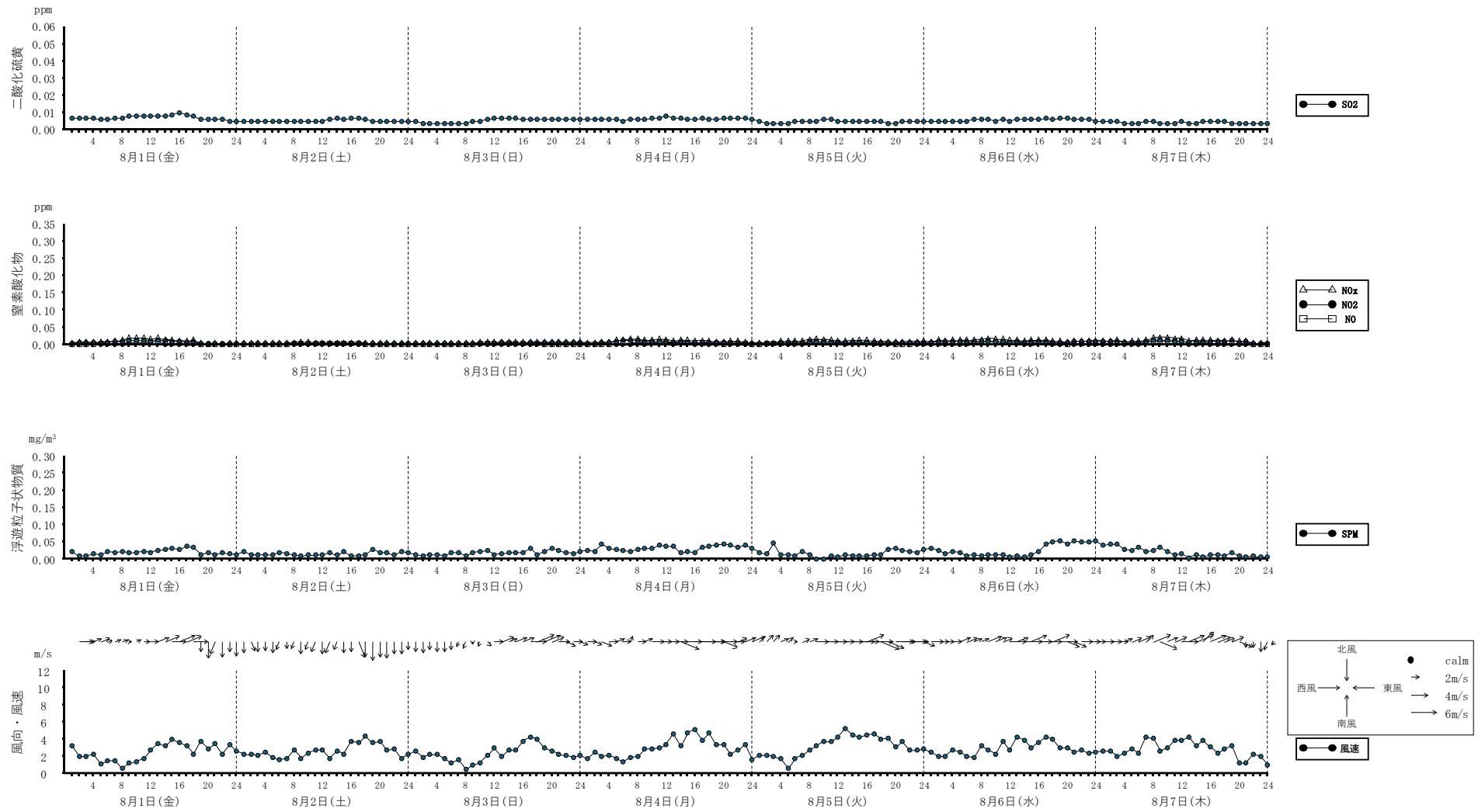


図 2-5 大気質・気象時系列変化図 (令和 7 年 8 月 1 日～8 月 7 日) 測定点 No.2

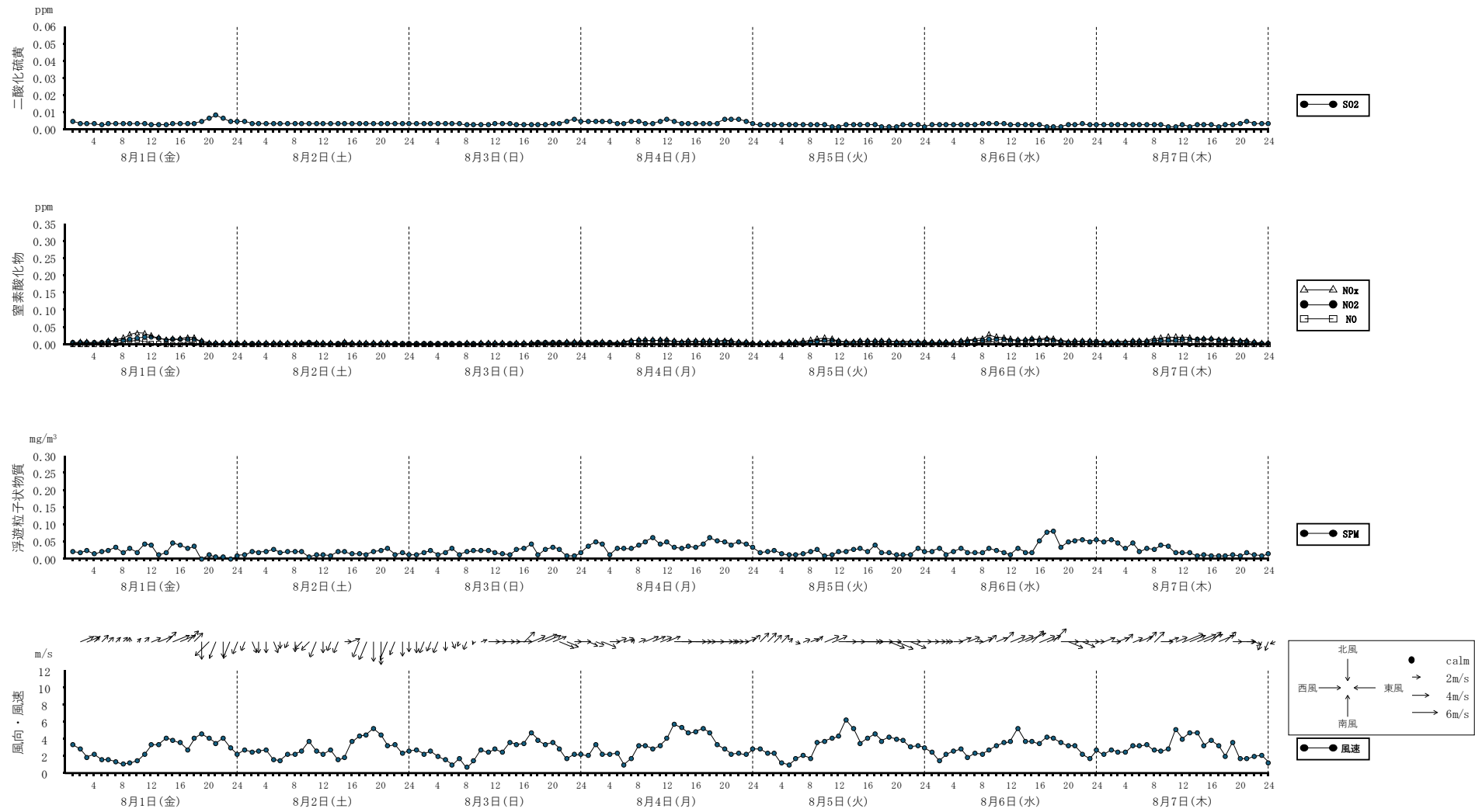


図 2-6 大気質・気象時系列変化図 (令和 7 年 8 月 1 日～8 月 7 日) 測定点 No. 3

表 2-10 悪臭結果

(大阪基地)

測定日：令和7年8月1日

測定点		No. 5 (風上)	No. 6 (風下)
測定時間		9:20	9:45
気象	天候(当日/前日)	晴/晴	晴/晴
	気温	29.8℃	30.6℃
	湿度	95%	96%
	風向	南南西	南
	風速	1.2m/s	0.6m/s
官能試験	臭気濃度	<10	<10
	臭気指数	<10	<10
	臭気強度	0	0
	臭質	無臭	無臭

- 注：1. 臭気濃度：人の嗅覚でその臭気を感じできなくなった時点の希釈倍数  
 2. 臭気指数：臭気指数=10×log(臭気濃度)  
 3. 官能試験時に求められた臭気強度である。  
 4. 臭気強度：0(無臭)～5(強烈な臭い)の6段階に区分

# 堺 基 地



### Ⅲ 堺基地

#### 1 環境監視結果の概要

##### 1.1 環境監視の実施状況

環境監視計画に基づく令和7年8月の環境監視の実施状況は次表のとおりである。

なお、調査地点位置については図3-1に示す。

環境項目	測定・調査項目	測定点	測定点数	調査内容	実施日
交通量	総交通量(2車種分類 <sup>注1</sup> )	No. 1 No. 2	4 地点	10時間 <sup>注2</sup> (毎正時10分間)	8月19日 8時～18時 <sup>注2</sup>
	廃棄物車数(2車種分類 <sup>注1</sup> )	No. 3 No. 4		10時間 <sup>注2</sup> (連続)	
大気質	二酸化硫黄、 一酸化窒素、 二酸化窒素、 浮遊粒子状物質、 風向・風速	No. 1 <sup>注3</sup> No. 2	2 地点	1 週間 (連続)	8月19日 0時30分～ 8月26日 0時30分
悪 臭	臭気強度、 臭気指数、 臭気濃度	No. 5 No. 6	2 地点	年 2 回	8月1日

注：1. 2車種分類とは、総交通量、廃棄物とも大型車と大型車以外の2種とする。

2. 測定点No.4の交通量の調査時間については、堺基地入場門の閉鎖が17時45分であるため、8時から17時までの9時間とした。

3. 平成26年度から大気質No.1を変更した。

##### 1.2 環境監視の結果

交通量及び大気質の監視結果については、総括を表3-1に、各測定・調査項目ごとの結果を表3-2～表3-9及び図3-2～図3-6に示す。

#### (1) 交通量 (表3-1、表3-2)

##### ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No.1)

時間交通量は1,764～3,222台、廃棄物車の時間交通量は0～6台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は19台/10hrで、総交通量(23,587台/10hr)に占める割合は0.1%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

##### イ) 堺狭山線沿道の測定点 (No.2)

時間交通量は1,122～1,698台、廃棄物車の時間交通量は0～2台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は4台/10hrで、総交通量(13,882台/10hr)に占める割合は0.0%

であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

#### ウ) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. 3)

時間交通量は1,500～2,952台、廃棄物車の時間交通量は0～2台で推移し、測定日の廃棄物車総交通量は3台/10hrで、総交通量(21,309台/10hr)に占める割合は0.0%であった。この地点における総交通量に占める事業の廃棄物車の割合は小さいものと考えられる。

#### イ) 堺基地近傍の測定点 (No. 4)

時間交通量は2～55台で推移し、全て廃棄物車であった。測定日の廃棄物車総交通量は206台/9hrで、総交通量(206台/9hr)に占める割合は100.0%であった。

### (2) 大気質 (表3-1、表3-3～表3-9)

#### ア) 大阪臨海線沿道の測定点 (No. 1)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西南西であり、平均風速は1.1m/secであった。

#### イ) 堺狭山線沿道の測定点 (No. 2)

調査期間中の二酸化硫黄、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質は、いずれの項目も環境基準値を下回る結果であった。

また、調査期間中の主風向は西であり、平均風速は1.1m/secであった。

### (3) 悪臭 (表3-10)

悪臭の調査結果を表3-10に示す。

臭気濃度及び臭気指数はNo. 5 (風下)、No. 6 (風上) とともに<10であった。臭気強度は両地点ともに0で臭質は無臭であった。

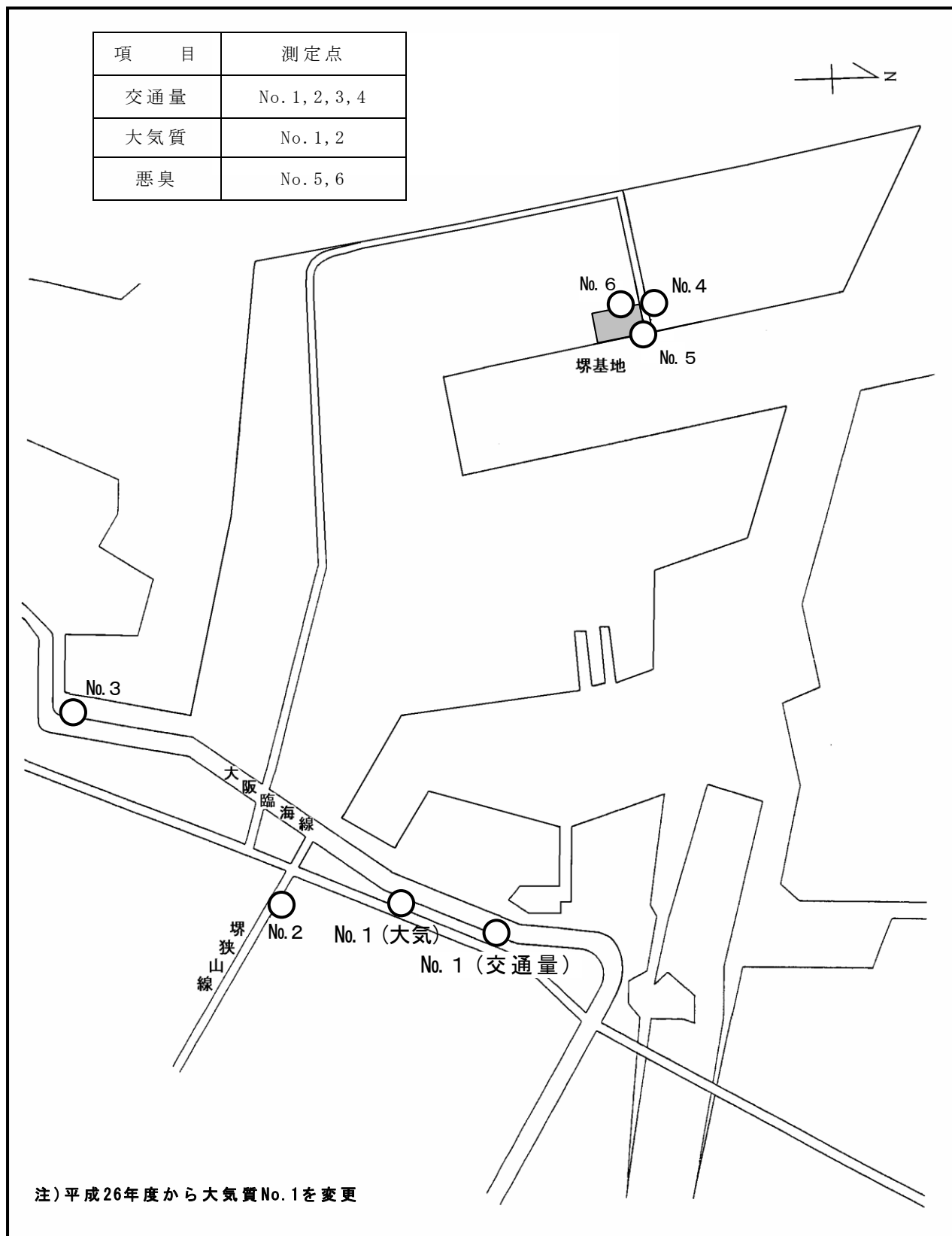


図3-1 環境監視調査地点位置図(堺基地)

## 2 環境監視結果

表 3 - 1 監視結果総括

(堺基地 令和7年8月調査結果)

測定点			No. 1	No. 2	No. 3	No. 4		
交通量 (8:00~ 18:00)	調査日		8月19日	8月19日	8月19日	8月19日		
	総交通量	最大時間交通量	(台)	3,222	1,698	2,952	55	
		最小時間交通量		1,764	1,122	1,500	2	
		総交通量		23,587	13,882	21,309	206	
	廃棄物 車数	最大時間交通量	(台)	6	2	2	55	
		最小時間交通量		0	0	0	2	
		総交通量		19	4	3	206	
	廃棄物車混入率(平均)		(%)	0.1	0.0	0.0	100.0	
騒音・振動 (8:00~ 18:00)	調査日		—	—	—	—		
	騒音 ( $L_{Aeq}$ )	一時間値	(dB)	—	—	—	—	
		時間平均値		—	—	—	—	
	騒音 ( $L_{A50}$ )	一時間値		—	—	—	—	
		時間平均値		—	—	—	—	
	振動 ( $L_{10}$ )	一時間値		—	—	—	—	
時間平均値		—		—	—	—		
大気質	調査日		8月19日~25日	8月19日~25日	—	—		
	二酸化 硫黄	日平均値	(ppm)	0.003 ~ 0.008	0.003 ~ 0.004	—	—	
		期間平均値		0.005	0.004	—	—	
		日平均値が0.04ppmを超えた日数		(日)	0	0	—	—
		1時間値が0.1ppmを超えた時間数		(時間)	0	0	—	—
	二酸化 窒素	日平均値	(ppm)	0.006 ~ 0.014	0.008 ~ 0.013	—	—	
		期間平均値		0.011	0.010	—	—	
		日平均値が0.04ppm以上、0.06ppm以下の日数		(日)	0	0	—	—
		日平均値が0.06ppmを超えた日数		0	0	—	—	
	浮遊粒子 状物質	日平均値	(mg/m <sup>3</sup> )	0.009 ~ 0.034	0.006 ~ 0.033	—	—	
		期間平均値		0.021	0.017	—	—	
		日平均値が0.1mg/m <sup>3</sup> を超えた日数		(日)	0	0	—	—
		1時間値が0.2mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数		(時間)	0	0	—	—
	風速	日平均値	(m/s)	1.0 ~ 1.3	0.9 ~ 1.2	—	—	
		期間平均値		1.1	1.1	—	—	
風向	最多風向	16方位	WSW	W	—	—		

表 3 - 2 交通量調査結果

(堺基地周辺 令和7年8月結果)

測定点	測定年月日	測定時刻	交通条件							騒音レベル (dB)				振動レベル (dB)			主な騒音源	
			総交通量 注1				廃棄物車数 (台)		廃棄物車混入率 (%)									
			大型車 (台)	大型車以外 (台)	合計 (台)	大型車混入率 (%)	全車両	大型車以外	廃棄物車/全車両	注2	L <sub>A5</sub>	L <sub>A50</sub>	L <sub>A95</sub>	L <sub>Aeq</sub>	L <sub>10</sub>	L <sub>50</sub>		L <sub>90</sub>
No.1 注3	令和7年 8月1日	8:00	565	1,530	2,095	27.0	1	0	0.0	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-
		9:00	1,170	1,344	2,514	46.5	6	0	0.2	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
		10:00	1,156	1,038	2,194	52.7	4	0	0.2	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-
		11:00	1,092	1,326	2,418	45.2	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		12:00	1,052	1,200	2,252	46.7	2	0	0.1	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-
		13:00	708	1,056	1,764	40.1	6	0	0.3	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-
		14:00	1,128	1,182	2,310	48.8	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		15:00	942	1,308	2,250	41.9	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		16:00	738	1,830	2,568	28.7	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		17:00	600	2,622	3,222	18.6	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		9,151	14,436	23,587	-	19	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
平均		915	1,444	2,359	38.8	1.9	0	0.1	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.2 注3	令和7年 8月1日	8:00	276	846	1,122	24.6	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		9:00	338	978	1,316	25.7	2	0	0.2	0.6	-	-	-	-	-	-	-	-
		10:00	488	894	1,382	35.3	2	0	0.1	0.4	-	-	-	-	-	-	-	-
		11:00	354	876	1,230	28.8	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		12:00	306	1,026	1,332	23.0	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		13:00	366	960	1,326	27.6	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		14:00	426	1,008	1,434	29.7	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		15:00	324	1,200	1,524	21.3	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		16:00	294	1,404	1,698	17.3	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		17:00	264	1,254	1,518	17.4	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		3,436	10,446	13,882	-	4	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
平均		344	1,045	1,388	24.8	0.4	0	0.0	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3 注3	令和7年 8月1日	8:00	678	1,872	2,550	26.6	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		9:00	1,014	1,098	2,112	48.0	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		10:00	1,046	1,014	2,060	50.8	2	0	0.1	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-
		11:00	894	996	1,890	47.3	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		12:00	990	1,026	2,016	49.1	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		13:00	624	876	1,500	41.6	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		14:00	990	984	1,974	50.2	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		15:00	823	1,218	2,041	40.3	1	0	0.0	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-
		16:00	720	1,494	2,214	32.5	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		17:00	456	2,496	2,952	15.4	0	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		8,235	13,074	21,309	-	3	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
平均		824	1,307	2,131	38.6	0.3	0	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.4	令和7年 8月1日	8:00	14	0	14	100.0	14	0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		9:00	54	1	55	98.2	55	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		10:00	36	3	39	92.3	39	3	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		11:00	19	4	23	82.6	23	4	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		12:00	22	2	24	91.7	24	2	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		13:00	28	2	30	93.3	30	2	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		14:00	8	0	8	100.0	8	0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		15:00	10	1	11	90.9	11	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		16:00	0	2	2	0.0	2	2	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
		17:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		191	15	206	-	206	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
平均		21	2	23	92.7	22.9	1.7	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	

注：1. 総交通量は1時間値に補正したもの（一般車：10分間値×6＋廃棄物車：1時間値）を示し、廃棄物車数は1時間の全交通量を示す。  
 2. 総交通量（大型車）に占める廃棄物車（大型車）の混入率を示す。  
 3. 測定点No.1、No.2、No.3の廃棄物車数については、泉大津基地への搬入車両を含む。

## 大気質調査結果

表 3 - 3 二酸化硫黄測定結果 (令和 7 年 8 月 19 日～8月25日)

(堺基地 令和7年8月調査結果)

測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	8月19日 (火)	0.004	0.007	0.004	0.006
	8月20日 (水)	0.004	0.006	0.004	0.006
	8月21日 (木)	0.008	0.060	0.004	0.006
	8月22日 (金)	0.004	0.005	0.003	0.005
	8月23日 (土)	0.004	0.006	0.004	0.007
	8月24日 (日)	0.003	0.005	0.003	0.005
	8月25日 (月)	0.004	0.005	0.003	0.006
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.005		0.004	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.008		0.004	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.060		0.007	
1 時 間 値 が 0.1ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm を 超 え た 日 数 (日)		0		0	

表 3 - 4 二酸化窒素測定結果 (令和 7 年 8 月 19 日～8月25日)

(堺基地 令和7年8月調査結果)

測 定 点		No. 1		No. 2	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)	日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日 別 値	8月19日 (火)	0.011	0.018	0.010	0.016
	8月20日 (水)	0.012	0.023	0.011	0.020
	8月21日 (木)	0.014	0.030	0.012	0.018
	8月22日 (金)	0.012	0.023	0.010	0.018
	8月23日 (土)	0.009	0.015	0.009	0.014
	8月24日 (日)	0.006	0.008	0.008	0.015
	8月25日 (月)	0.013	0.025	0.013	0.023
有 効 測 定 日 数 (日)		7		7	
測 定 時 間 (時間)		168		168	
期 間 平 均 値 (ppm)		0.011		0.010	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.014		0.013	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.030		0.023	
1 時 間 値 が 0.2ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0		0	
1 時 間 値 が 0.1ppm 以 上、0.2ppm 以 下 の 時 間 数 (時間)		0		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以 上、0.06ppm 以 下 の 日 数 (日)		0		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数 (日)		0		0	

表3-5 一酸化窒素測定結果 (令和7年8月19日～8月25日)

(堺基地 令和7年8月調査結果)

測定点		No. 1		No. 2	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値(ppm)	日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値(ppm)
日 別 値	8月19日(火)	0.002	0.005	0.008	0.018
	8月20日(水)	0.003	0.008	0.007	0.020
	8月21日(木)	0.006	0.019	0.009	0.021
	8月22日(金)	0.006	0.021	0.008	0.017
	8月23日(土)	0.001	0.003	0.004	0.011
	8月24日(日)	0.000	0.000	0.002	0.003
	8月25日(月)	0.003	0.017	0.007	0.020
有効測定日数(日)		7		7	
測定時間(時間)		168		168	
期間平均値(ppm)		0.003		0.006	
日平均値の最高値(ppm)		0.006		0.009	
1時間値の最高値(ppm)		0.021		0.021	

表3-6 窒素酸化物(NO+NO<sub>2</sub>)測定結果 (令和7年8月19日～8月25日)

(堺基地 令和7年8月調査結果)

測定点		No. 1			No. 2		
項目		日平均値		1時間値の 最高値(ppm)	日平均値		1時間値の 最高値(ppm)
		(ppm)	NO <sub>2</sub> /NO <sub>x</sub> (%)		(ppm)	NO <sub>2</sub> /NO <sub>x</sub> (%)	
日 別 値	8月19日(火)	0.013	84.1	0.021	0.018	57.7	0.032
	8月20日(水)	0.015	81.3	0.028	0.018	59.5	0.033
	8月21日(木)	0.020	69.2	0.038	0.021	56.7	0.038
	8月22日(金)	0.017	68.2	0.044	0.018	55.2	0.035
	8月23日(土)	0.010	90.0	0.017	0.013	68.4	0.021
	8月24日(日)	0.006	100.0	0.008	0.010	79.1	0.018
	8月25日(月)	0.016	83.5	0.038	0.019	66.5	0.041
有効測定日数(日)		7			7		
測定時間(時間)		168			168		
期間平均値(ppm)		0.014			0.017		
日平均値の最高値(ppm)		0.020			0.021		
1時間値の最高値(ppm)		0.044			0.041		
NO <sub>2</sub> /(NO+NO <sub>2</sub> )(%)		79.1			61.8		

表3-7 浮遊粒子状物質測定結果 (令和7年8月19日～8月25日)

測定点		No. 1		No. 2	
項目		日平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の 最高値(mg/m <sup>3</sup> )	日平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の 最高値(mg/m <sup>3</sup> )
日 別 値	8月19日(火)	0.013	0.031	0.011	0.022
	8月20日(水)	0.015	0.041	0.013	0.038
	8月21日(木)	0.015	0.041	0.009	0.028
	8月22日(金)	0.009	0.023	0.006	0.048
	8月23日(土)	0.025	0.052	0.021	0.065
	8月24日(日)	0.034	0.054	0.033	0.069
	8月25日(月)	0.034	0.051	0.027	0.050
有効測定日数(日)		7		7	
測定時間(時間)		168		168	
期間平均値(mg/m <sup>3</sup> )		0.021		0.017	
日平均値の最高値(mg/m <sup>3</sup> )		0.034		0.033	
1時間値の最高値(mg/m <sup>3</sup> )		0.054		0.069	
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数(時間)		0		0	
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数(日)		0		0	

表3-8 風向・風速観測結果 (令和7年8月19日～8月25日)

測定点		No. 1				No. 2				天候
項目		風速			最多風向 (16方位)	風速			最多風向 (16方位)	
		平均風速 (m/s)	最大風速			平均風速 (m/s)	最大風速			
			風速 (m/s)	風向 (16方位)			風速 (m/s)	風向 (16方位)		
日 別 値	8月19日(火)	1.3	1.8	WSW	WSW	1.1	1.7	W	W	晴
	8月20日(水)	1.2	2.0	WSW	WSW	1.0	1.7	WNW, W	W	晴
	8月21日(木)	1.2	2.2	WSW	WSW	0.9	1.6	SSE, W	WNW	晴
	8月22日(金)	1.1	1.8	W	W	0.9	1.4	NW, W	W	晴
	8月23日(土)	1.1	1.7	E	WSW	1.1	1.6	ESE	WSW	曇
	8月24日(日)	1.1	1.7	SW, WSW	WSW	1.2	1.3	WSW, WNW, NW	WSW	晴一時曇
	8月25日(月)	1.0	1.6	WSW	W	1.2	1.6	SSW, SE, ESE	W	晴時々曇一時雨
有効測定日数(日)		7			7	7			7	
測定時間(時間)		168			168	168			168	
期間平均風速(m/s)		1.1			—	1.1			—	
期間最大風速(m/s)		2.2			—	1.7			—	
期間最多風向(16方位)		—			WSW	—			W	

注：1. 最多風向は、気象庁の気象観測統計指針に基づいて求めた。

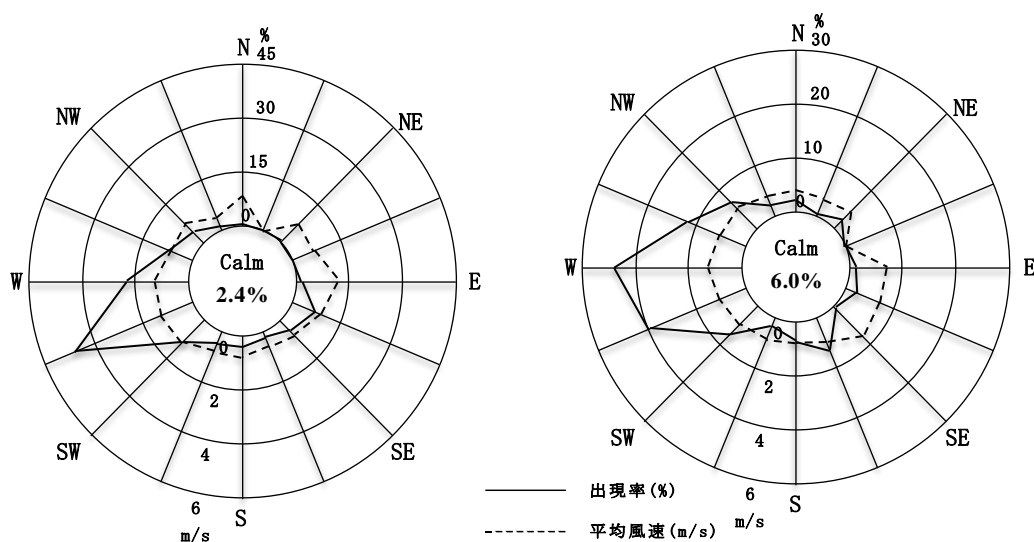
2. 表中の天候は、大阪管区気象台の観測結果（昼：6:00～18:00）から引用した。

表3-9 風向別出現頻度及び風向別平均風速 (令和7年8月19日～8月25日)

(堺基地 令和7年8月調査結果)

測定点		No.1			No.2		
項目		出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)	出現回数 (回)	出現頻度 (%)	平均風速 (m/s)
風向	N	1	0.6	1.1	4	2.4	0.8
	NNE	—	—	—	1	0.6	0.7
	NE	1	0.6	1.0	4	2.4	0.9
	ENE	1	0.6	0.9	—	—	—
	E	3	1.8	1.6	2	1.2	1.4
	ESE	12	7.1	1.2	4	2.4	1.4
	SE	7	4.2	0.8	1	0.6	1.6
	SSE	3	1.8	0.6	11	6.5	1.0
	S	5	3.0	0.8	6	3.6	0.8
	SSW	6	3.6	0.8	3	1.8	0.9
	SW	15	8.9	1.2	13	7.7	1.0
	WSW	60	35.7	1.3	33	19.6	1.1
	W	29	17.3	1.3	40	23.8	1.3
	WNW	12	7.1	0.9	20	11.9	1.1
	NW	7	4.2	1.0	12	7.1	1.1
NNW	2	1.2	0.5	4	2.4	0.8	
calm		4	2.4	0.3	10	6.0	0.2
total		168	100.0	1.1	168	100.0	1.1

注：calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

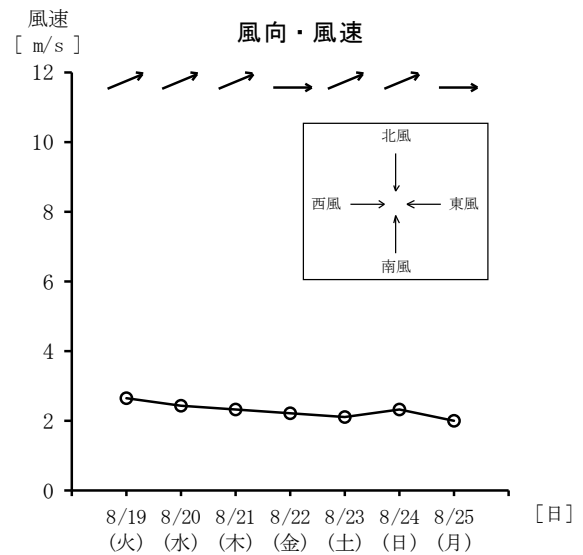
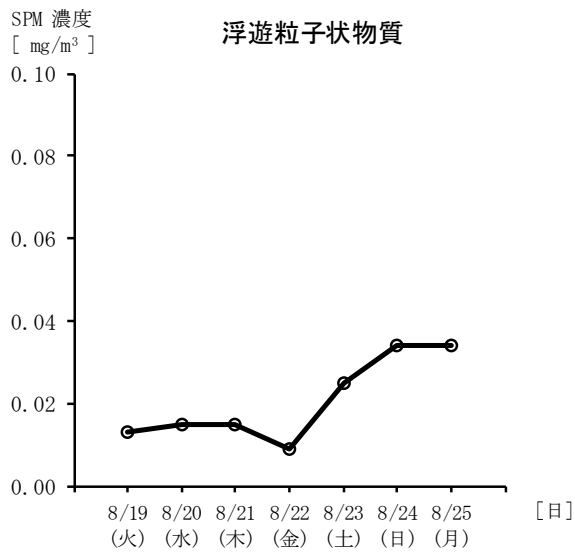
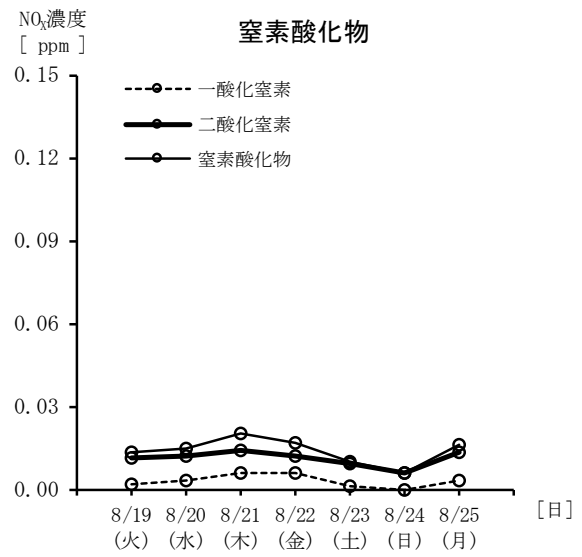
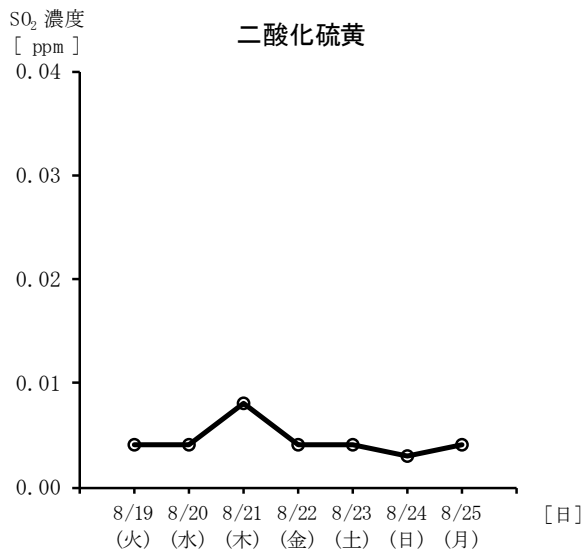


注：calmは静穏(風速0.4m/s未満)を示す。

測定点 No. 1

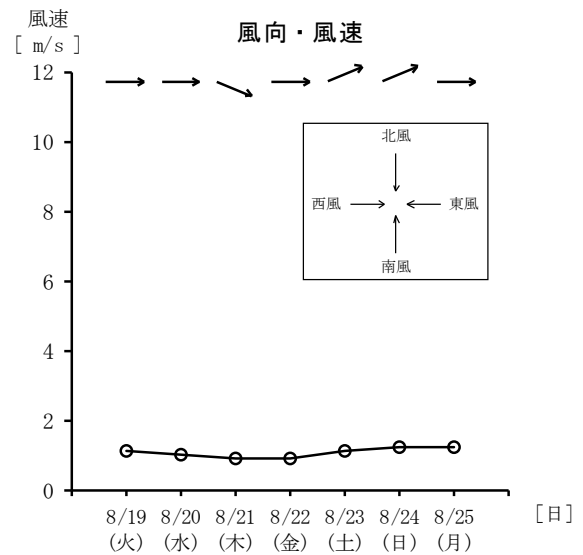
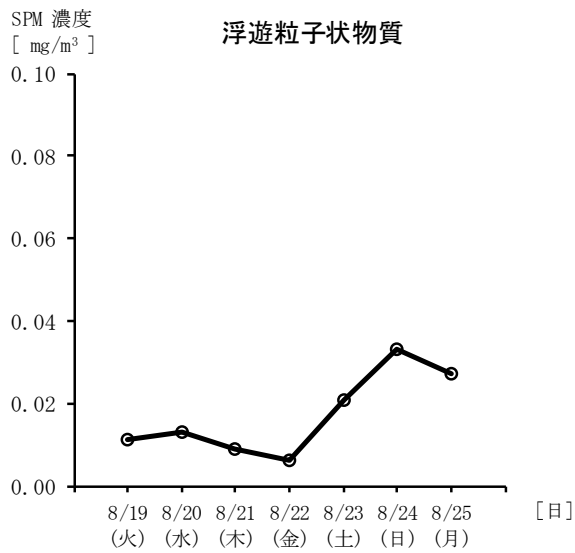
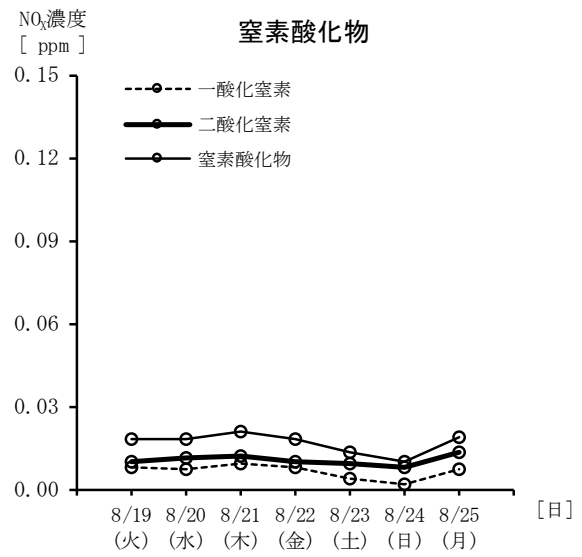
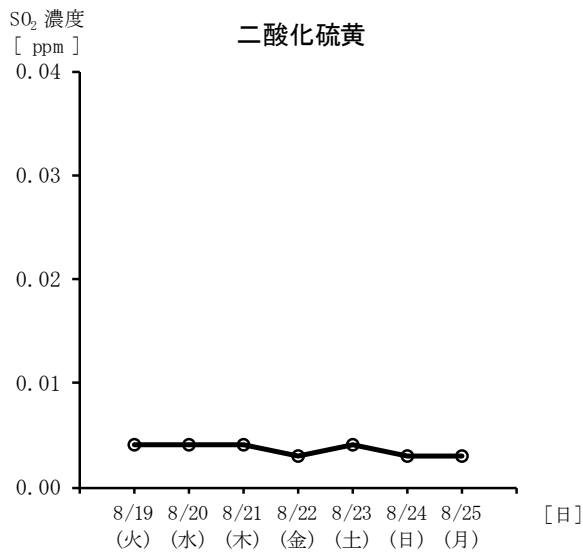
測定点 No. 2

図3-2 風配図と風向別平均風速 (令和7年8月19日～8月25日)



測定点 No. 1

図 3 - 3 大気質・気象日平均値変化図 (令和 7 年 8 月 19 日～8 月 25 日)



測定点 No. 2

図3-4 大気質・気象日平均値変化図 (令和7年8月19日~8月25日)

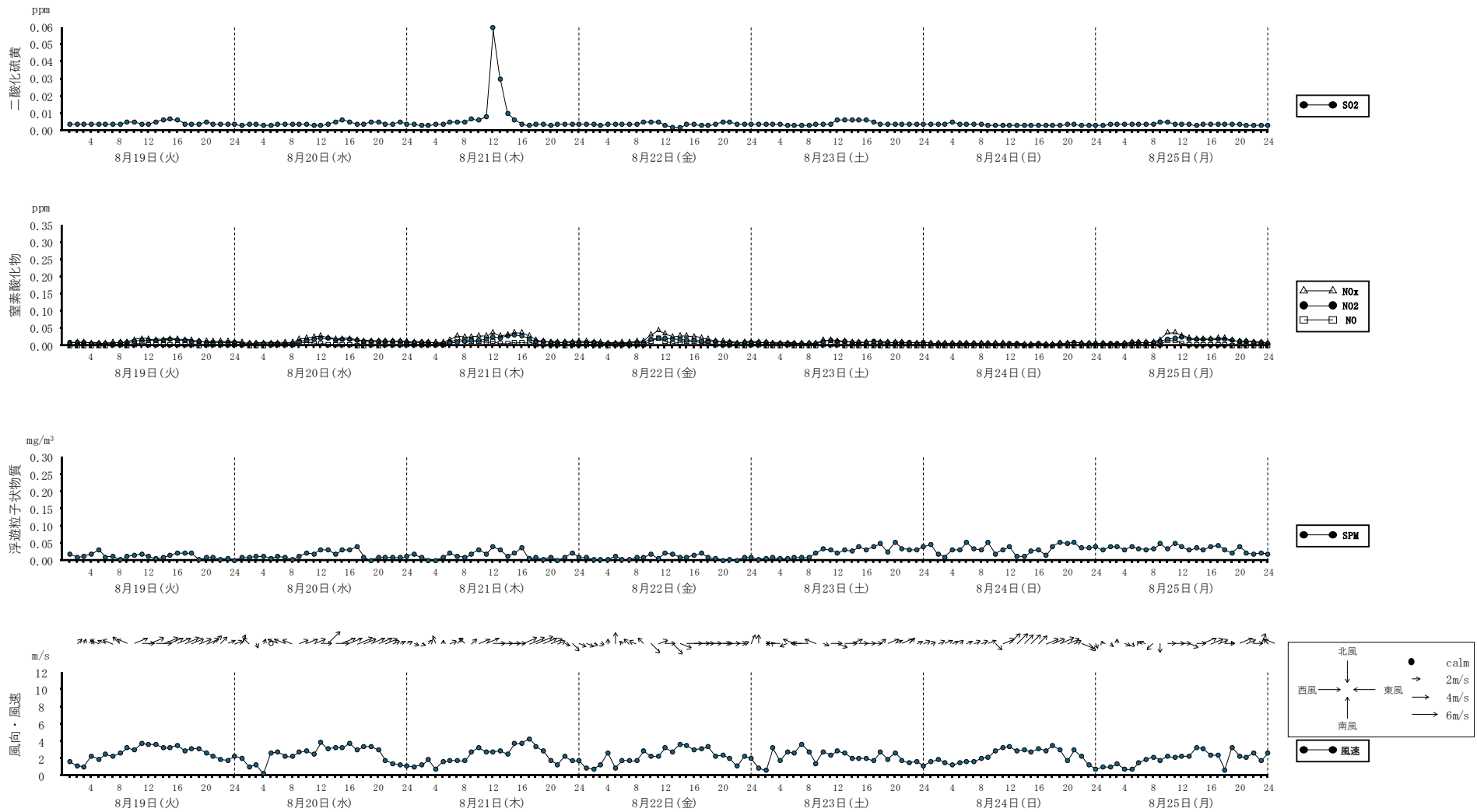


図 3-5 大気質・気象時系列変化図 (令和 7 年 8 月 19 日~8 月 25 日) 測定点 No. 1

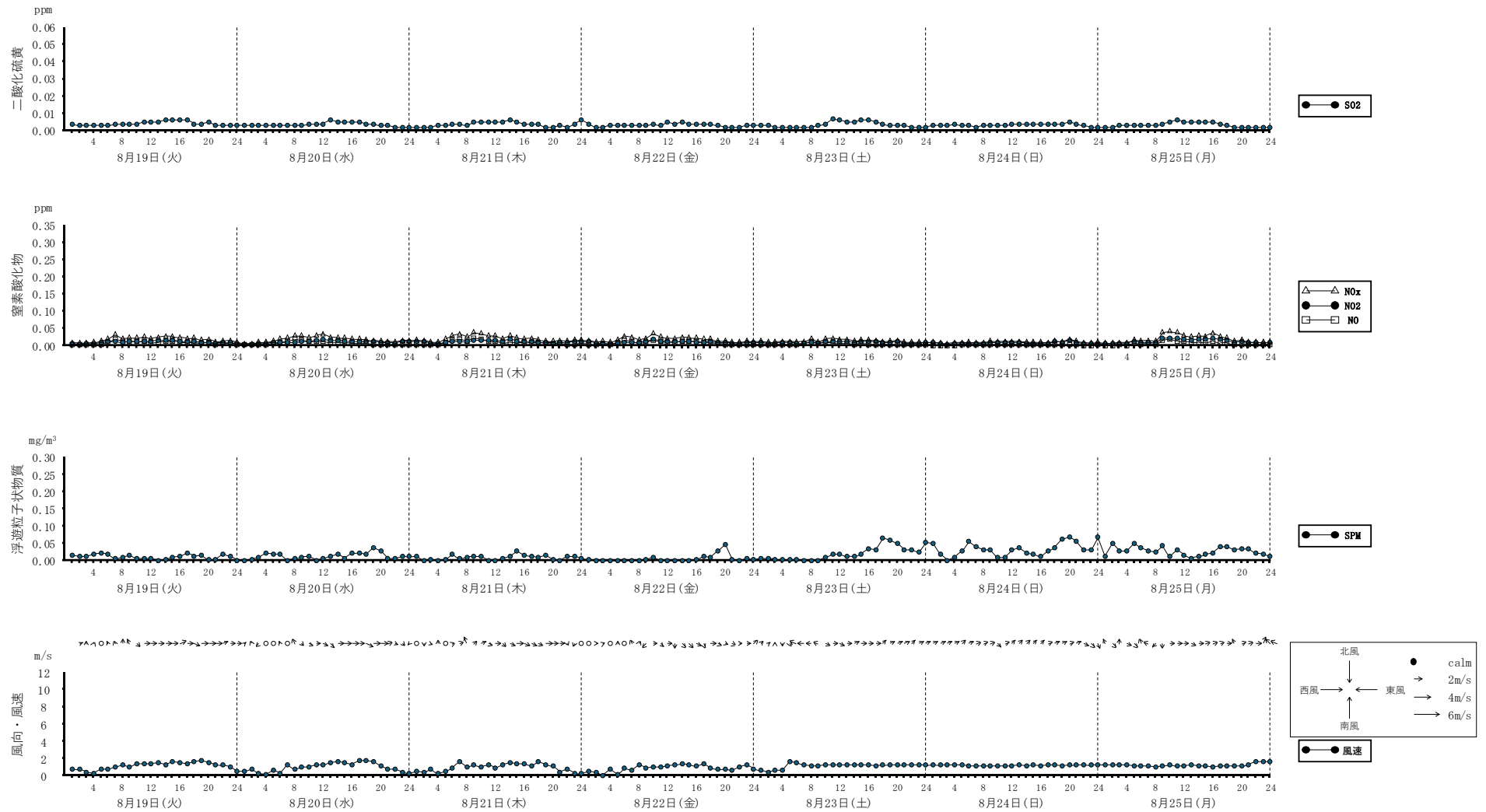


図 3-5 大気質・気象時系列変化図 (令和 7 年 8 月 19 日～8 月 25 日) 測定点 No. 2

表 3-10 悪臭結果

(堺基地)

測定日：令和7年8月1日

測定点		No. 5 (風下)	No. 6 (風上)
測定時間		11:30	11:05
気象	天候(当日/前日)	晴/晴	晴/晴
	気温	31.5℃	31.0℃
	湿度	85%	90%
	風向	西南西	南西
	風速	2.1m/s	1.1m/s
官能試験	臭気濃度	<10	<10
	臭気指数	<10	<10
	臭気強度	0	0
	臭質	無臭	無臭

注：1. 臭気濃度：人の嗅覚でその臭気を感じできなくなった時点の希釈倍数

2. 臭気指数：臭気指数=10×log(臭気濃度)

3. 官能試験時に求められた臭気強度である。

4. 臭気強度：0(無臭)～5(強烈な臭い)の6段階に区分